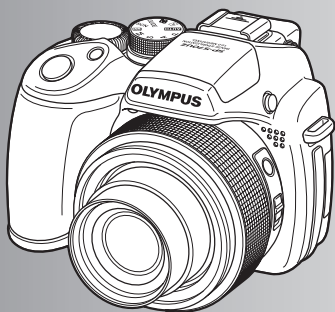
デジタルカメラ

OLYMPUS

SP-570UZ

取扱説明書

かんたんガイド

すぐ使いたい方は、
こちらをお読みください。

- オリンパスデジタルカメラのお買い上げ、ありがとうございます。カメラを操作しながらこの説明書をお読みいただき、安全に正しくお使いください。特に「安全にお使いいただくために」は、製品をご使用になる前によくお読みください。またお読みになったあとも、必ず保管してください。
- 海外旅行などの大切な撮影の前には試し撮りをしてカメラが正常に機能することをお確かめください。
- 取扱説明書で使用している液晶画面やカメラのイラストは実際の製品とは異なる場合があります。

本書の構成

基本操作を覚える ⇨ かんたんガイド

カメラの準備と設定、静止画の撮影から再生までの基本操作を順を追って説明しています。

こんな方におすすめ

- オリンパスのデジタルカメラを初めて使う方
- デジタルカメラをあまり使ったことがない方
- デジタルカメラをすぐに使いたい方

知りたい内容をすばやく探す

カメラの各部の名前やボタン、メニューなど、機能別に説明しています。知っている用語から探したり、やりたいこと、知りたいことから探すことができます。

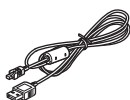
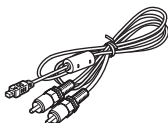
こんな方におすすめ

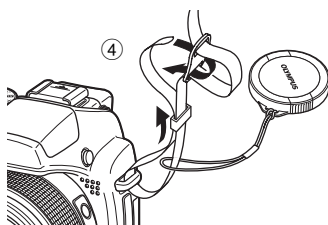
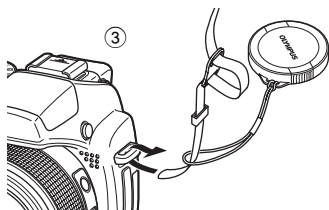
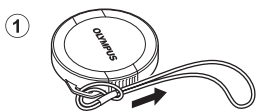
- デジタルカメラを使い慣れている方

Web版 取扱説明書

オリンパスホームページにて作例写真を使った撮影テクニックを紹介しています。
http://www.olympus.co.jp/jp/imsg/webmanual/

箱の中身を確認する

デジタルカメラ　レンズキャップ／レンズキャップ用ひも　ストラップ

単3形アルカリ電池（4本）　USBケーブル　AVケーブル　OLYMPUS Master 2 CD-ROM

その他の付属品　● 取扱説明書（本書）　● 保証書

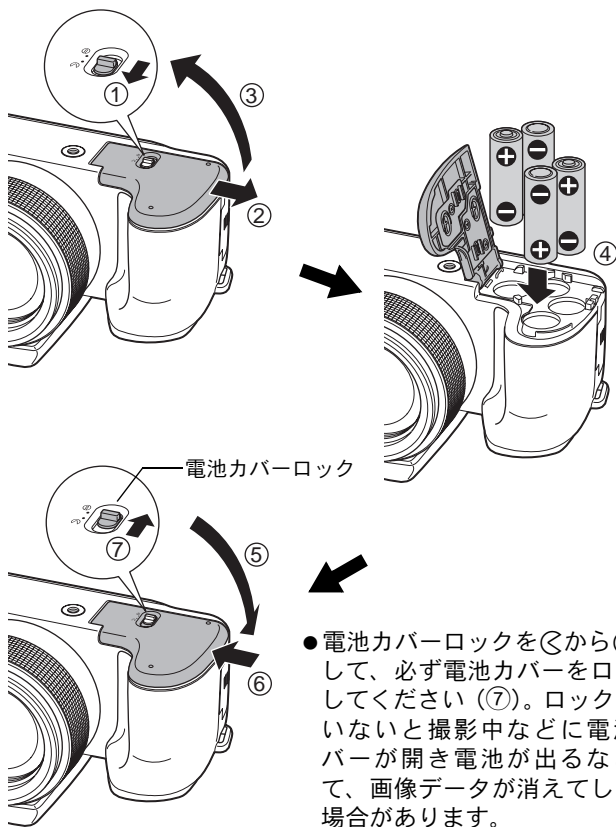
ストラップとレンズキャップを取り付ける

• 同様に逆側も取り付けます。

● 少し強めに引っ張り、抜けないことを確認してください。

かんたんガイド

準備する

a. カメラに電池を入れる

● 電池カバーロックを⊗から⊖にして、必ず電池カバーをロックしてください（⑦）。ロックしていないと撮影中などに電池カバーが開き電池が出るなどして、画像データが消えてしまう場合があります。

b. カメラに xD- ピクチャーカード（別売）を入れる

カードカバー

①

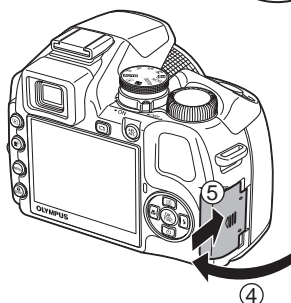
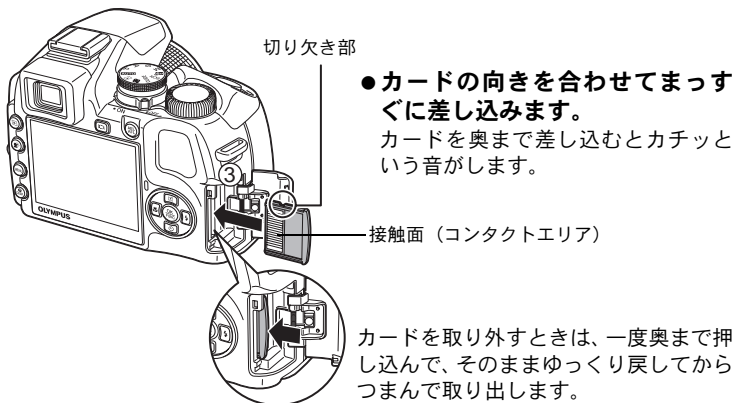
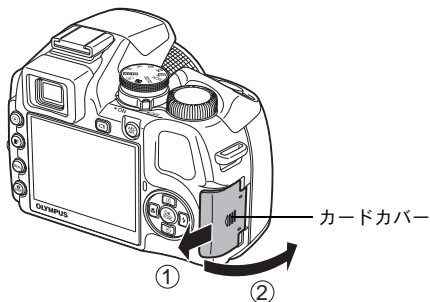
②

切り欠き部

③

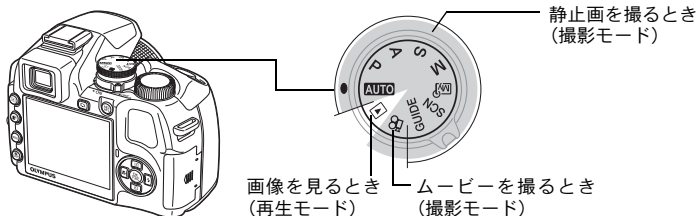
● **カードの向きを合わせてまっすぐに差し込みます。**
カードを奥まで差し込むとカチッという音がします。

接触面（コンタクトエリア）

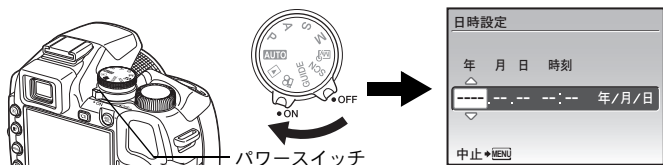
カードを取り外すときは、一度奥まで押し込んで、そのままゆっくり戻してからつまんで取り出します。

● このカメラは別売のxD-ピクチャーカード（以降カードと呼びます）を入れなくても撮影できます。カードを入れないで撮影した場合、画像は内蔵メモリに保存されます。
カードについて詳しくは、「カードについて」（P.103）をご覧ください。

電源を入れる

ここでは、撮影モードで電源を入れる方法を説明します。

a. モードダイヤルを AUTO に合わせる

静止画撮影モード

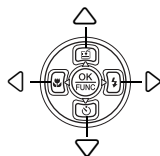
AUTO	カメラが自動的に設定した状態で撮影します。
P	最適な絞り値とシャッター速度をカメラが自動的に決めます。
A	絞り値を変更して撮影します。
S	シャッター速度を変更して撮影します。
M	絞り値とシャッター速度を変更して撮影します。
My	撮影の各種機能を設定し、オリジナルの撮影モードとして使います。
SCN	撮影状況に合った撮影シーンで撮影します。
GUIDE	画面に表示される撮影ガイドにしたがうと、目的の項目を設定できます。

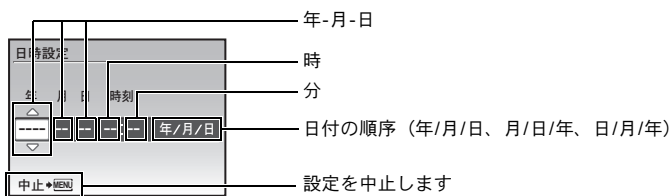
b. レンズキャップを外してパワースイッチを ON の位置にする

- 日時を設定していない場合は、この画面が表示されます。

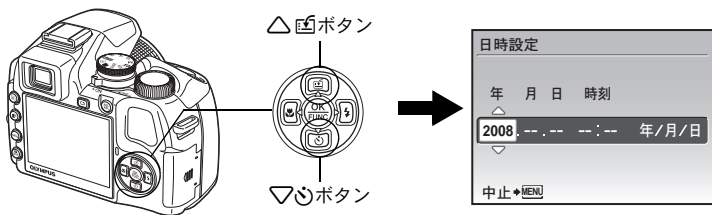
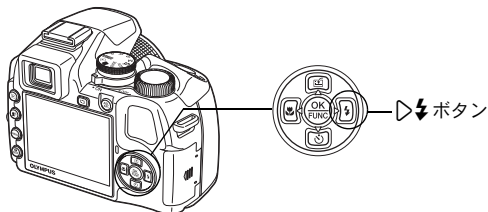
●電源を切るときは、パワースイッチをOFFの位置にします。

ヒント

本書では十字ボタンの方向を△▽◁▷で示しています。

かんたんガイド

日時を設定する

日時設定の画面について

a. △🖆 ボタンと ▽◌ ボタンを押して［年］を設定する

● ［年］の上2桁は固定されています。

b. ▷⚡ ボタンを押す

c. △🖆 ボタンと ▽◌ ボタンを押して［月］を設定する

d. ▷⚡ ボタンを押す

e. △🖆 ボタンと ▽🕗 ボタンを押して［日］を設定する

f. ▷⚡ ボタンを押す

g. △🖆 ボタンと ▽🕗 ボタンを押して「時」「分」を設定する

● カメラの時間表示は24時間表示です。

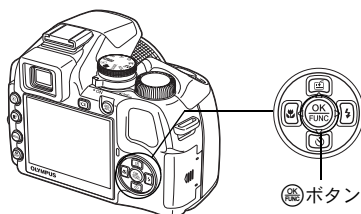
h. ▷⚡ ボタンを押す

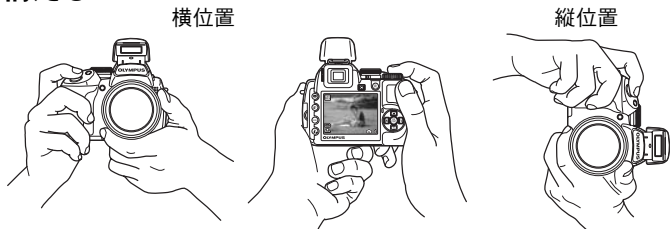
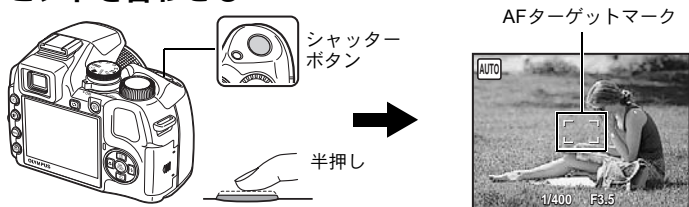
i. △🖆 ボタンと ▽🕗 ボタンを押して、［年 / 月 / 日］を設定する

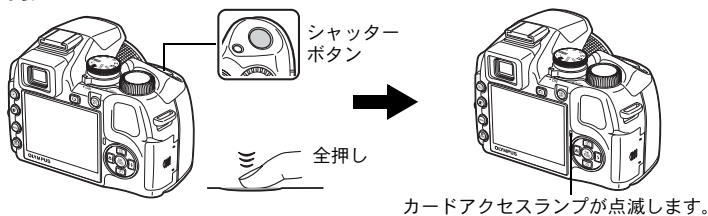
j. すべての項目を設定したら、OK/FUNC ボタンを押す

● 0秒の時報に合わせてOK/FUNCボタンを押すと、正確に時間を合わせることができます。

撮影できる枚数が表示されます。

かんたんガイド

撮る

a. 構える

b. ピントを合わせる

- ピントと露出が固定されると、AFターゲットマークが緑色に点灯し、シャッター速度と絞り値が表示されます。
- AFターゲットマークが赤色に点滅したときは、ピントが合っていません。もう一度やり直してください。

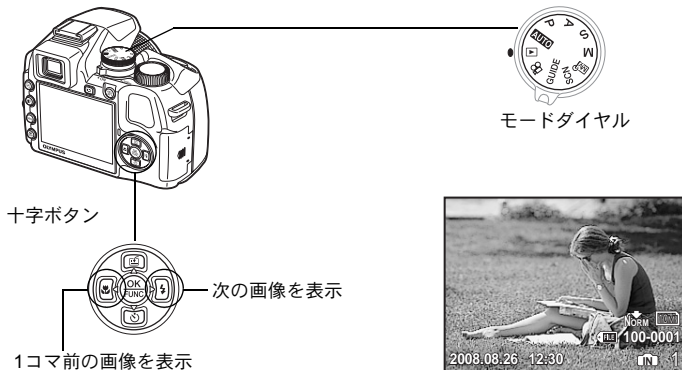
c. 撮る

ビューファインダを見やすくする

a. |◯| ボタンを押す

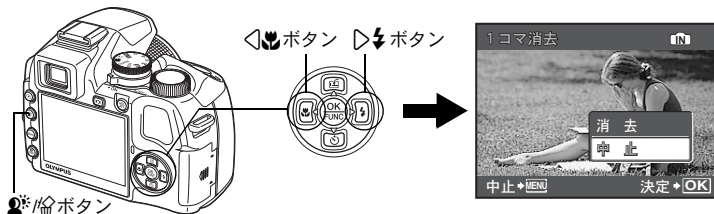
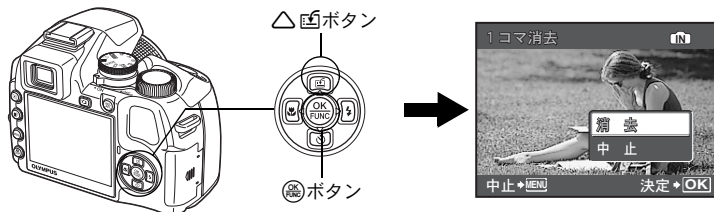
b. ビューファインダをのぞきながら、視度調整ダイヤルを少しずつ回す

- ビューファインダ内のアイコンなどがはっきり見えたら調整完了です。

撮った画像を見る

a. モードダイヤルを ▶ に合わせる

撮った画像を消す

a. ◁ ボタンと ▷ ボタンを押して、消したい画像を表示する

b. ボタンを押す

c. △ ボタンを押して［消去］を選択し、OK FUNC ボタンを押す

もくじ

各部の名前 17

名前を確認しながら、このカメラの機能の全体像をつかんでください。各機能の参照にも利用できます。

ボタンを使って操作する 22

実際にカメラを手に取ってイラストで確認しながら、カメラのボタンの機能を試してください。

スーパーコンパネを使って操作する.................................. 37

スーパーコンパネの基本的な操作方法を説明していますので、実際に操作してみましょう。

メニューを使って操作する 40

メニューの基本的な操作方法から、各メニューの機能や設定内容など、メニューのすべてがわかります。

プリントする 71

撮影した画像をプリントする方法について説明しています。

OLYMPUS Master を使う 77

カメラの画像をパソコンに取り込んで保存する方法について説明しています。

もっとカメラのことが知りたいときに............................82

困ったときやカメラをもっと知りたいときにご覧ください。

資料 98

カメラを快適に使用する上での注意点や、知っておくと便利なことについて記載しています。

各部の名前

カメラ

フラッシュ（P.30、P.52）
ボタン（露出補正）
（P.29）
シャッターボタン
（P.9、P.28）
録音マイク
OLYMPUS
20X
OPTICAL
ZOOM
ストラップ取付部
（P.3）
セルフタイマーランプ／
AFイルミネータ
（P.35、P.47、P.51）
レンズ
ストラップ取付部
（P.3）
UPボタン（フラッシュ
ポップアップ）（P.30）
ボタン（ドライブ）
（P.31）
DC入力端子
（P.104）
PUSH TO EJECT
UP
AF
MF
DC IN 6.5V
USB
A/V OUT
（MONO）
カードカバー（P.5）
カード挿入口（P.5）
AF/MFスイッチ
（P.31）
マルチコネクタ
（P.68、P.71、P.78）
コネクタカバー
（P.68、P.71、
P.78）

ズームリング
（P.28）
ホットシュー
（P.100）
モードダイヤル
（P.6、P.22）
コントロール
ダイヤル
（P.29）
パワースイッチ
（P.6、P.22）
SP-570UZ
IMAGE STABILIZATION
10.0 MEGAPIXEL
AUTO
GUIDE
SCN
ON
OFF

ボタン（モニタ切り換え）
（P.30）
AEL AFL/ボタン
（AEロックAFロック／連写再生）
（P.30）
ビューファインダ
（P.9）
視度調整ダイヤル
（P.9）
/ボタン
（再生／プリント）
（P.32、P.74）
/ボタン
（顔検出パーフェクトショット／消去）
（P.32）
MENUボタン
（P.33）
ボタン（マクロ）（P.34）
ボタン
（カスタム）
（P.34）
十字ボタン
（P.34）
ボタン
（フラッシュ）
（P.30）
ボタン
（OK/FUNC）
（P.35）
ボタン
（セルフタイマー）（P.35）
DISP./ボタン
（P.33）
液晶モニタ
（P.19、P.66）
カードアクセスランプ
（P.9、P.80、P.88、P.104）
OLYMPUS
AEL AFL
MENU
DISP.
OK FUNC

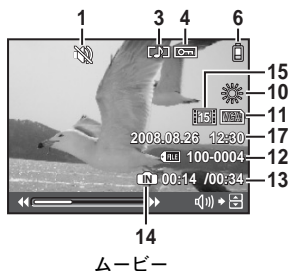
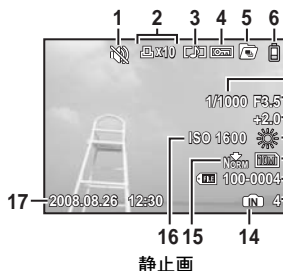
三脚穴
スピーカー
電池カバーロック
（P.4）
電池カバー（P.4）

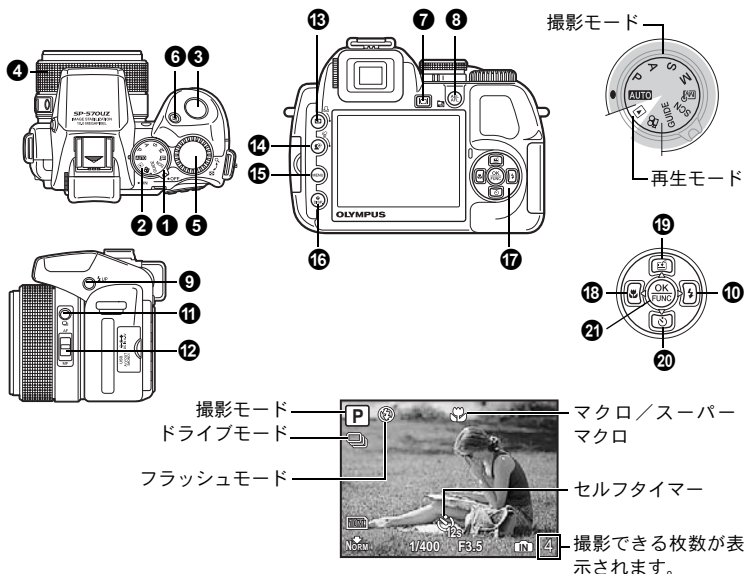
液晶モニタの表示

● 撮影モード

	項目	表示例	参照頁
1	撮影モード	AUTO、P、、、、など	P.6、 P.22、 P.46
2	フラッシュモード	、、、など	P.30
3	消音モード		P.55
4	手ぶれ補正		P.52
5	マクロ スーパーマクロ		P.34
6	顔検出パーフェクトショット		P.32
7	ノイズリダクション	NR	P.54
8	AEロックマーク	AEL	P.30
9	電池残量	（撮影可）、（交換してください）	P.92
10	AFロックマーク マニュアルフォーカス 動体予測AF	AFL MF AF	P.30 P.31 P.51
11	フラッシュ発光予告 手ぶれ警告・フラッシュ充電	点灯 点滅	P.82
12	フラッシュ補正	-2.0～+2.0	P.52
13	彩度	RGB -5～+5	P.54
14	シャープネス	-5～+5	P.53
15	コントラスト	-5～+5	P.53
16	コンバージョンレンズ		P.55
17	録音		P.61
18	デュアルタイム		P.66
19	アラーム		P.67
20	撮影可能枚数 撮影可能時間	4 00:34	P.8 P.87

	項目	表示例	参照頁
21	使用メモリ	IN（内蔵メモリに記録されます） 表示なし（カードに記録されます）	P.104
22	AFターゲットマーク	[ ]	P.9、 P.28、 P.50
23	セルフタイマー	2s、12s	P.35
24	絞り値	F2.8～F8.0	P.23
25	シャッター速度	15"、1/2、1/400、1/2000、BULBなど	P.23
26	露出補正	-2.0～+2.0	P.29
27	画質 圧縮モード フレームレート	RAW、RAW JPEG NORM（ノーマル）、FINE（ファイン） 15（15コマ／秒）、30（30コマ／秒）	P.42 P.43 P.43
28	画像サイズ	10M、5M、16:9、VGAなど	P.42、 P.96
29	測光	[•]、[◎]	P.50
30	ISO感度	ISO 100、ISO 800、ISO 1600など	P.49
31	ホワイトバランス	☼、☁、☀、1～3、	P.48
32	ドライブ	、Hi 1、Hi 2、PRE Hi 2、AF、BKT	P.31、 P.49
33	WB補正	B1～B7、R1～R7	P.53

● 再生モード

	項目	表示例	参照頁
1	消音モード		P.55
2	プリント予約・枚数	x10	P.74
3	録音		P.61
4	プロテクト		P.61
5	連写再生／連写画像自動再生		P.27
6	電池残量	（撮影可）、（交換してください）	P.92
7	シャッター速度	15"、1/2、1/60、1/1000など	P.23
8	絞り値	F2.8～F8.0	P.23
9	露出補正	-2.0～+2.0	P.29
10	ホワイトバランス	WB AUTO、、、、1～3、	P.48
11	画像サイズ	10M、5M、16:9、VGAなど	P.42、 P.96
12	ファイル番号	FILE 100-0004	P.65
13	コマ番号 再生時間／録画時間	4 00:14/00:34	— P.26
14	使用メモリ	IN（内蔵メモリ内の画像を再生しています） 表示なし（カード内の画像を再生しています）	P.104
15	画質 圧縮モード フレームレート	RAW NORM（ノーマル）、FINE（ファイン） 15（15コマ／秒）、30（30コマ／秒）	P.42 P.43 P.43
16	ISO感度	ISO 100、ISO 800、ISO 1600など	P.49
17	日時	2008.08.26 12:30	P.7、 P.66

ボタンを使って操作する

❶ パワースイッチ　電源を入れる／切る

電源オン：

撮影モード
- 液晶モニタ点灯
- レンズが繰り出す

再生モード
- 液晶モニタ点灯

❷ モードダイヤル　撮影／再生を切り換える

モードダイヤルをそれぞれの位置に合わせ、撮影または再生します。
- モードダイヤルの位置によっては、設定できない機能があります。

☞「撮影モード別設定可能な機能」（P.94）

AUTO フルオートで撮影する

カメラが自動的に設定した状態で撮影できます。
ホワイトバランスやISO感度など［撮影メニュー］内の設定は変更できません。

P 最適な絞り値とシャッター速度で撮影する

被写体の明るさに応じて、最適な絞り値とシャッター速度の組み合わせをカメラが自動的に決めます。
ホワイトバランスやISO感度など［撮影メニュー］内の設定は変更できます。

A 絞り値を変更して撮影する

設定範囲
W側　：F2.8～F8.0
T側　：F4.5～F8.0

コントロールダイヤルを回します。シャッター速度はカメラが自動的に設定します。

絞り値

：方向に回すと、絞り値が大きくなります。
：方向に回すと、絞り値が小さくなります。

絞り値が赤で表示されているときは、正しい露出が得られていません。

S シャッター速度を変更して撮影する

設定範囲：1/2～1/1000
（ノイズリダクションがONの時：４秒まで）

コントロールダイヤルを回します。絞り値はカメラが自動的に設定します。

シャッター速度

：方向に回すと、シャッター速度が速くなります。
：方向に回すと、シャッター速度が遅くなります。

シャッター速度が赤で表示されているときは、正しい露出が得られていません。

M 絞り値とシャッター速度を変更して撮影する

コントロールダイヤルを回します。[±]を押して絞り値の設定、シャッター速度の設定を切り換えます。

設定範囲
絞り値：F2.8～F8.0
（絞り値の設定範囲はズーム位置によって変わります）
シャッター速度：15" ～ 1/2000
（シャッター速度の設定範囲は絞り値によって変わります）

露出差

赤で表示されているときは、適正露出との露出差が±3.0EVを超えています。

絞り値

：Q方向に回すと、絞り値が大きくなります。
：[W]方向に回すと、絞り値が小さくなります。

シャッター速度

：Q方向に回すと、シャッター速度が速くなります。
：[W]方向に回すと、シャッター速度が遅くなります。

長時間露出（バルブ）撮影するには

コントロールダイヤルを[W]方向に回して、シャッター速度をBULBに設定します。シャッターを押している間、シャッターが開き続けます（［ISO感度］を［64］に設定しているときのみバルブ撮影が可能です（最長8分））。

[MY] 自分で設定したオリジナルの撮影モードで撮影する

撮影に関する各種機能を設定してマイモードとして4つまで登録でき、オリジナルの撮影モードとして使うことができます。

☞「マイモード設定　撮影に関する機能を設定して登録する」（P.69）

登録したマイモードは、ファンクションメニューまたはスーパーコンパネで切り換えます。

☞「My 1/2/3/4　登録したオリジナルの撮影モードを切り換える」（P.36）
「マイモードを切り換える」（P.39）

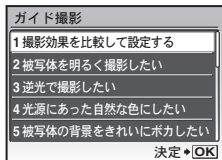
SCN 被写体に合った撮影シーンで撮影する

被写体に合った撮影シーンで撮影できます。

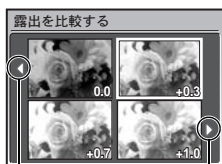
シーンを選択する／他のシーンに切り換える

- **MENU**を押してトップメニューから［SCN］を選択して、他のシーンに切り換えます。
- 他のシーンに切り換えると、一部の設定を除き、各シーンの初期設定に戻ります。

☞「**SCN**（シーン）　被写体に合った撮影シーンを選んで撮影する」（P.46）

GUIDE 撮影ガイドにしたがって設定する

画面に表示される撮影ガイドにしたがうと、目的の項目を設定できます。

- 再度、撮影ガイドを表示するときは**MENU**を押します。
- 撮影ガイドを使わずに設定を変更する場合は、別の撮影モードに切り換えてください。
- **MENU**を押したりモードダイヤルを切り換えると、撮影ガイドで設定した内容は初期設定に戻ります。

撮影効果を比較しながら撮影する

◁▷で画面を切り換えます。

［露出を比較する］を選択した場合

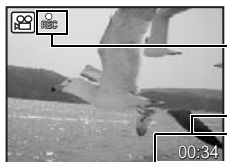
撮影ガイドメニューで［1 撮影効果を比較して設定する］から目的の項目を選ぶと、画面が4分割され、設定値に対応した被写体の画像がそれぞれ表示されます。画面上で撮影効果を比較することができます。

- 十字ボタンで撮影する設定値の画像を選び、OK/FUNCを押します。撮影モードになり、選択した設定で撮影できます。

ムービーを撮る

［ムービー録音］を［ON］に設定しているときは、音声を同時に録音します。

- 録音中は、デジタルズームのみ可能です。光学ズームで撮影したい場合は、［ムービー録音］を［OFF］に設定します。音声を録音してズームも使いたい場合は、［デジタルズーム］を［ON］に設定します。

☞「ムービー録音　ムービー撮影時に音声を録音する」（P.55）
「デジタルズーム　被写体を大きく撮影する」（P.50）

ムービー撮影中は赤く点灯します。

撮影可能時間が表示されます。0になると撮影は停止します。

- ［手ぶれ補正］を［ON］に設定して長時間連続してムービー撮影を行うと、カメラの内部温度が上がり、自動的に動作を停止する場合があります。電池を取り出して、カメラが冷えるまでしばらく待ってから撮影するか、［手ぶれ補正］を［OFF］に設定して撮影しましょう。
また、使用中にカメラの外側の温度も上がりますが、故障ではありません。

▶ 撮影した画像を見る／再生モードにする

最後に撮影した画像が表示されます。

- 他の画像を見るときは十字ボタンを押します。
- コントロールダイヤルで表示形式をクローズアップ再生／インデックス再生／カレンダー再生に切り換えることができます。

☞「コントロールダイヤル　インデックス再生・カレンダー再生・クローズアップ再生する」（P.29）

ムービーを再生するには

再生モードでムービー画像を選択し、ⓄⓀを押して再生します。

ムービー再生中の操作

再生時間／録画時間

△：音量を大きくします。
▽：音量を小さくします。

▷：押すたびに再生速度が2倍 - 20倍 - 1倍に変わります。
◁：押すたびに逆再生の速度が1倍 - 2倍 - 20倍 - 1倍に変わります。

- ⓄⓀを押すと一時停止します。

一時停止中の操作

△：先頭のコマを表示します。
▽：末尾のコマを表示します。

▷：次のコマを表示します。
◁：前のコマを表示します。

- ムービーを再開するときは、ⓄⓀを押します。
- ムービー再生中、または一時停止中にムービーの再生を中止するときは、**MENU**を押します。

ボタンを使って操作する

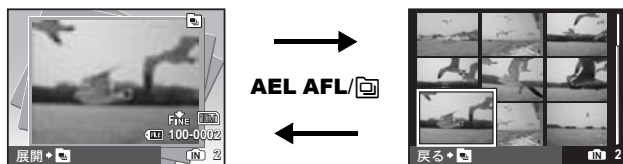
［カメラで合成1］［カメラで合成2］で作成したパノラマ画像を見る（パノラマ再生）

- 十字ボタンでパノラマ画像を選んで OK を押すと、左から右、または下から上へスクロール再生が始まります。
- スクロール再生中にコントロールダイヤルを回すと、画像を拡大・縮小できます。また、画像を拡大しているときに十字ボタンを押すとその方向に画像がスクロールします。
- スクロールを停止したり、最初の拡大率でスクロールを再開するときは、OKを押します。
- パノラマ再生を中止するときは、**MENU**を押します。

☞「パノラマ　パノラマ画像を合成する」（P.44）

連続撮影した画像をインデックス再生する（連写再生）／連続撮影した画像を自動再生する（連写画像自動再生）

次の機能で連続撮影した画像は、最初の１コマ目のみ表示されます。

［連写］［高速連写１］［高速連写２］［AF連写］［BKT］［インターバル撮影］［オークション］［ショット&セレクト1］［ショット&セレクト2］［スマイルショット］

- が表示されている画像を選択し、**AEL AFL**/ を押すと、連写枚数分がインデックス再生されます（連写再生）。再度**AEL AFL**/ を押すと、最初の１コマ目のみの表示に戻ります。
- が表示されている画像を選択し、OK を押すと、連写枚数分が自動再生されます（連写画像自動再生）。
- 本機で撮影した画像のみ有効です。
- １コマ目を表示しているときに、次の操作を行うと、連続撮影したすべての画像に設定されます。
  プロテクト／回転表示／プリント予約／１コマ消去
  連続撮影した個別の画像に設定するときは、**AEL AFL**/ を押して、インデックス再生表示にしてから設定してください。

❸ シャッターボタン　撮影する

静止画を撮る

モードダイヤルをAUTO、P、A、S、M、MY、GUIDE、SCNのいずれかに合わせ、シャッターボタンを軽く押します（半押し）。ピントと露出が固定されるとAFターゲットマークが緑色に点灯し（フォーカスロック）、シャッター速度と絞り値が表示されます（モードダイヤルがAUTO、P、A、S、Mのとき）。この状態でシャッターボタンを押し込んで（全押し）撮影します。

ピントを固定してから構図を決めて撮る（フォーカスロック）

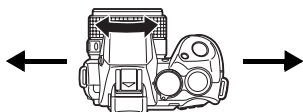
フォーカスロックのまま撮影したい構図にして、シャッターボタンを押し込んで撮影します。

- AF ターゲットマークが赤色に点滅したときは、ピントが合っていません。もう一度やり直してください。

ムービーを撮る

モードダイヤルを🎥に合わせ、シャッターボタンを半押ししてピントを合わせ、全押しして撮影を始めます。もう一度シャッターボタンを押して撮影を終了します。

❹ ズームリング　ズームイン・ズームアウトして撮影する

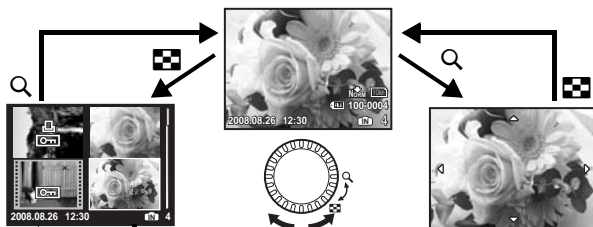
撮影時、ズームリングを回して被写体を拡大します。
光学ズーム倍率：20倍

ご注意

- 三脚をご使用の場合に三脚座が大きすぎると、ズームリングが回りにくい場合があります。

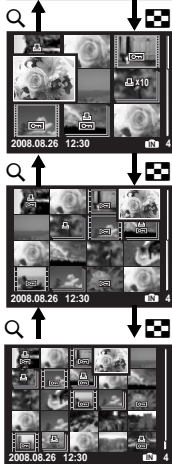
❺ コントロールダイヤル

インデックス再生･カレンダー再生･クローズアップ再生する

再生モードでコントロールダイヤルを▦方向または🔍方向に回して、画像の表示形式を切り換えます。

1コマ再生
• 十字ボタンで他の画像を再生します。

インデックス再生
• 十字ボタンで再生する画像を選択して㊞を押すと、選択した画像が1コマ再生されます。

クローズアップ再生
• 🔍側に回すたびに10倍までクローズアップ再生され、▦側に回すと縮小されます。
• クローズアップ再生中に十字ボタンを押すと、その方向に画像がスクロールします。
• 1コマ再生に戻るときは㊞を押します。

カレンダー再生
• 十字ボタンを押して日付を選択して㊞またはコントロールダイヤルを🔍側に回すと、選択した日付の画像が表示されます。

❻ ☒ボタン

画像の明るさを変える（露出補正）

撮影モードで☒を押し、コントロールダイヤルを回して調整します。再度☒を押して設定します。
• -2.0EV～+2.0EVまで調整できます。

：コントロールダイヤルを🔍方向に回して、明るくします。

：コントロールダイヤルを▦方向に回して、暗くします。

❼ |◯|ボタン　モニタを切り換える

液晶モニタとビューファインダを切り換えます。

❽ AEL AFL／⧉ボタン
ピント位置･露出を固定する／連続撮影した画像をインデックス再生する

AEL AFL ピント位置・露出を固定する

あらかじめ**AEL AFL**に［AEロック］［AFロック］［AFロック＋AEロック］いずれかの機能を登録して、撮影モードで**AEL AFL**を押すと、それぞれの機能が働きます。

☞「AELAFLボタン　AEロック・AFロック機能を登録する」（P.69）

●ピント位置および露出を固定する場合（AFロック+AEロック）

・**AEL AFL**に［AFロック+AEロック］を登録しておきます。**AEL AFL**を押したときに測光値が記憶され、ピントと露出が固定されます。液晶モニタにAFL（AFロックマーク）とAEL（AEロックマーク）が表示されます。もう一度**AEL AFL**を押すとAFロック+AEロックが解除されます。押すたびにロックと解除が繰り返されます。

⧉ 連続撮影した画像をインデックス再生する

連続して撮影された画像は、最初の1コマ目のみ表示されます。
再生モードで⧉を押すと、インデックス再生します。

☞「連続撮影した画像をインデックス再生する（連写再生）／連続撮影した画像を自動再生する（連写画像自動再生）」（P.27）

❾ ⚡UPボタン　フラッシュをポップアップする

フラッシュが起き上がります。
フラッシュ撮影するときに押します。

❿ ▷⚡ボタン　フラッシュ撮影する

撮影モードで⚡**UP**を押し、フラッシュが起き上がった状態にします。そのあと▷⚡を押し、フラッシュモードを選択します。
OK/FUNCを押して設定します。

AUTO	オート発光	暗いときや逆光のとき、フラッシュが自動的に発光します。
👁	赤目軽減	予備発光を行い、目が赤くなる現象を軽減します。
⚡	強制発光	フラッシュが必ず発光します。
👁⚡	赤目・強制発光	赤目軽減の予備発光後、フラッシュを必ず発光させます。

⊛	発光禁止	フラッシュは発光しません。
⚡SLOW	スローシンクロ	遅いシャッター速度でフラッシュを発光させます。シャッターが開いた瞬間（直後）にフラッシュが発光します（先幕シンクロ）。遅いシャッター速度でフラッシュを発光させるので、夜景などの背景と被写体の両方を写すことができます。
◉SLOW	赤目軽減スローシンクロ	スローシンクロ（先幕シンクロ）を使ってフラッシュ撮影をしながら、赤目軽減効果も得たいときに使用します。夜景を背景にした人物撮影に適しています。
⚡SLOW2	スローシンクロ2	シャッターが閉じる直前にフラッシュが発光します（後幕シンクロ）。夜間走行中の車のテールライトが後方に流れる様子を表現するときなど、作画に変化をつけることができます。シャッター速度が遅いほうが効果的です。

• フラッシュが起き上がっていないと設定はできません。

⑪ ボタン　単写・連写を切り換える

撮影モードでを押し、ドライブモードを選択します。
OK/FUNCを押して設定します。

□	単写	一度シャッターを押すと、1コマだけ撮影されます。
	連写	最初の1コマでピント、明るさ（露出）が固定されます。記録する画質設定によって連写速度が異なります。
Hi 1	高速連写1	通常の連写より高速で連写できます。
Hi 2	高速連写2	約13.5コマ/秒の速度で連写できます。
PRE Hi 2	プリキャプチャー	約13.5コマ/秒の速度で連写できます。半押ししたときに撮影直前の10コマ分の画像を保存します。
AF	AF連写	1コマごとにピントを合わせます。連写速度は遅くなります。
BKT	BKT	1コマごとに自動的に露出を変えて連続撮影します。最初の1コマで、ピント、ホワイトバランスが固定されます。

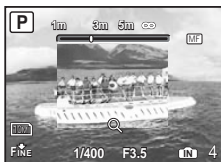
シャッターボタンを押している間、静止画を連続して撮影します。シャッターボタンから指をはなすと連写は止まります。

• ［BKT］の露出差や撮影枚数は、撮影メニューの［ドライブ］で設定することができます。

☞「ドライブ　連続して撮影する」（P.49）

⑫ AF/MFスイッチ　ピント合わせの方法を変更する

撮影モードでAF/MFスイッチをスライドさせて、フォーカスモードを設定します。

AF	シャッターボタンを半押しすると、カメラが自動でピントを合わせます。
MF	手動でピントを合わせます。

［MF］に設定したときは

- ◁▷を押して、ピント位置を設定します。操作中、画面の中央部は拡大表示されます。
- ㊝を長押ししてピント位置を確定します。ピントは設定した距離で固定され、画面に赤くMFと表示されます。ピント位置を変更したいときは、もう一度㊝を長押しします。
- 画面の距離表示は目安です。
- ピントを調整する操作は、◁▷以外にズームリングまたはコントロールダイヤルを使うこともできます。

☞「MF操作　マニュアルフォーカス時の操作方法を設定する」（P.70）

⓭ ▶/⎙ボタン　画像を見る／画像をプリントする

▶ 撮影した画像を見る

撮影した画像が液晶モニタに表示されます。撮影モードで▶を押します。
再度▶を押すかシャッターボタンを半押しすると、撮影モードに戻ります。

⎙ 画像をプリントする

プリンタ接続時、再生モードでプリントする画像を表示して⎙を押します。
☞「かんたんプリント」（P.71）

⓮ 顔/🗑ボタン　逆光時でも被写体を明るく撮る／画像を消去する

顔 逆光時でも被写体を明るく撮る（顔検出パーフェクトショット機能）

撮影モードで顔を押し、顔検出パーフェクトショット機能のON／OFFを選択します。㊝を押して設定します。検出された位置に枠が表示されます（🎥を除く）。逆光でも被写体の顔などを明るく撮れます。

OFF	顔検出パーフェクトショットを解除します。
ON	顔検出パーフェクトショットを設定します。

- 枠が表示されるまでに時間がかかることがあります。
- 被写体によっては、顔を検出できない場合があります。
- ［ON］に設定すると、他の設定が次のように制限されます。
  - ［測光］は［ESP］に固定される
  - ［AF方式］は［顔検出］に固定される
  - ［ドライブ］が［単写］以外に設定されている場合は、最初の 1 コマのみにこの機能が適応されます。
  - ［AF連写］設定時は自動的に［連写］になります。

画像を消去する

再生モードで消去する画像を表示してを押します。

- 消去した画像は元に戻せません。消去する前に、大切なデータを消さないよう十分に注意してください。

「プロテクト　画像を保護する」（P.61）

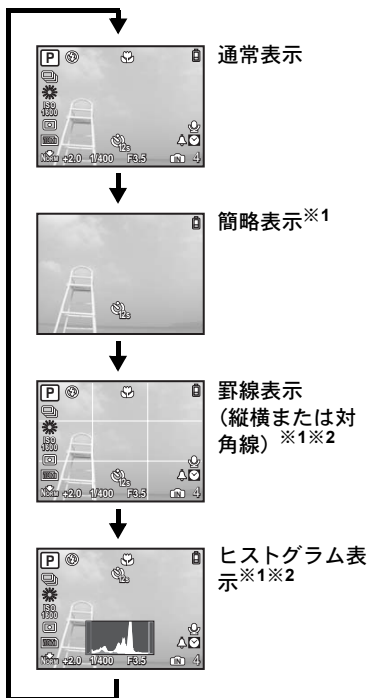
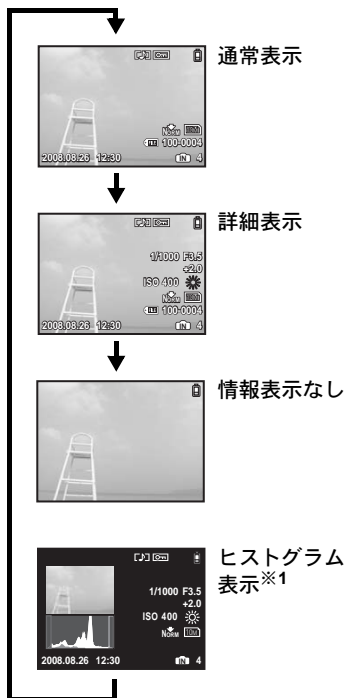
⑮ MENUボタン（MENU）

トップメニューを表示します。

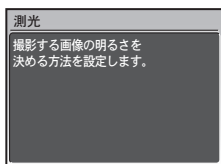
⑯ DISP./? ボタン

情報表示を切り換える／メニューガイドを表示する／時刻を確認する

DISP. 情報表示を切り換える

DISP.を押すたびに、以下の順で表示が切り換わります。

※1 、**GUIDE**のときは表示されません。
※2 メニューで［OFF］に設定している場合は表示されません。

☞「ヒストグラム表示　ヒストグラム表示の設定をする」（P.68）
「罫線表示　罫線を表示する／種類を決める」（P.68）

? メニューガイドを表示する

メニュー項目を選択した状態で?を押すと、押している間、メニューガイドが表示されます。

時刻を確認する

カメラの電源が切れているときに**DISP./?**を押すと、現在時刻とアラームの設定時刻（[アラーム設定]を設定しているとき）が3秒間表示されます。

⑰ 十字ボタン（△▽◁▷）

撮影シーンや再生画面の選択、各種メニューの選択時などに使います。

⑱ ◁🌷ボタン　近接した被写体を撮影する（マクロ）

撮影モードで◁🌷を押し、マクロモードを選択します。
OK/FUNCを押して設定します。

OFF	マクロオフ	マクロモードを解除します。
🌷	マクロ	被写体に10cm（ズームが最も広角側にあるとき）まで接近して撮影できます。
S🌷	スーパーマクロ	被写体に1cmまで接近して撮影できます。

⑲ △🖆ボタン　カスタムボタンとして使う

△🖆に使用頻度の高い機能をあらかじめ登録しておくことができます（**AUTO**、🎥、**GUIDE**を除く）。登録すると、メニューから画面を表示するのではなく、ボタンで直接設定することができます。初期設定は［OFF］です。
（例）［カスタムボタン］に［ファインズーム］を登録した場合

△🖆を押す ➡

設定画面が表示されます。

☞「カスタムボタン　カスタムボタンに機能を登録する」（P.70）
「マイモード／カスタムボタンに登録できる機能」（P.93）

ボタンを使って操作する

⑳ ▽◌ボタン　セルフタイマー撮影する

撮影モードで▽◌を押し、セルフタイマーのON／OFFを選択します。
㊇を押して設定します。

OFF	セルフタイマーを解除します。
12s	設定後、シャッターボタンを全押しすると、セルフタイマーランプが約10秒点灯し、さらに2秒点滅したあと、シャッターが切れます。
2s	設定後、シャッターボタンを全押しすると、セルフタイマーランプが2秒点滅したあと、シャッターが切れます。

- 作動中のセルフタイマーを中止するには、▽◌を押します。
- セルフタイマー撮影は、1回の撮影が終わると自動的に解除されます。
- ［動体予測 AF］が［ON］のとき、または［プリキャプチャー］が［ON］のとき、セルフタイマーの設定はできません。

㉑ ㊇ボタン（OK/FUNC）　スーパーコンパネ･ファンクションメニューで設定する

撮影モードで㊇を押すと、スーパーコンパネまたはファンクションメニューが表示されます。スーパーコンパネでは現在の設定値が表示され、撮影モードの機能が設定できます。ファンクションメニューでは、撮影モードでよく使う機能が設定できます。
また、メニュー項目を確定するときに使います。

- スーパーコンパネ、ファンクションメニューのどちらを表示するか設定できます。

☞「スーパーコンパネ　スーパーコンパネとファンクションメニューを切り換える」（P.65）

スーパーコンパネで設定する

☞「スーパーコンパネを使って操作する」（P.37）

ファンクションメニューで設定する

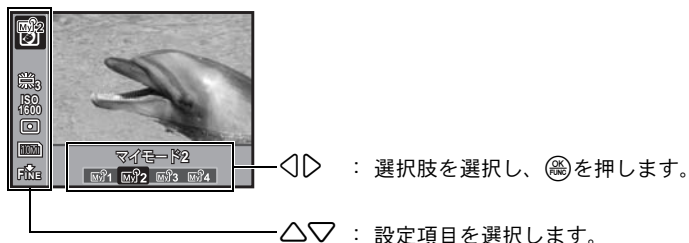
My 1/2/3/4　.................... 登録したオリジナルの撮影モードを切り換える

My1／My2／My3／My4

- モードダイヤルをMyに合わせたときに表示されます。
- My1のみ、あらかじめ設定値が登録されています。

ファンクションメニュー

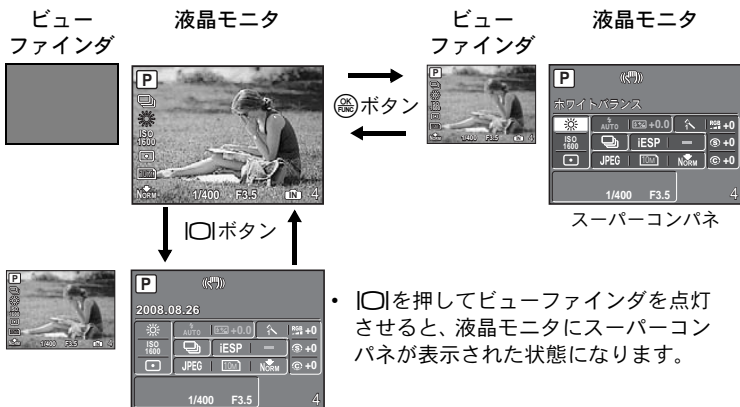
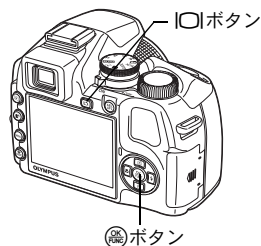
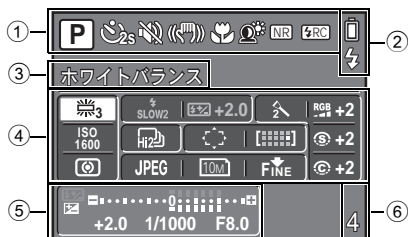
◁▷　：選択肢を選択し、OK/FUNCを押します。

△▽　：設定項目を選択します。

ファンクションメニューで設定できるその他の機能

☞「ホワイトバランス　画像の色合いを調整する」（P.48）
「ISO感度　ISO感度を変更する」（P.49）
「測光　明るさを測る範囲を変える」（P.50）
「画質　用途に合わせて画質を変更する」（P.42）

スーパーコンパネを使って操作する

撮影モードで(OK/FUNC)を押すと、撮影機能の設定・表示ができる画面が表示されます。これをスーパーコンパネと呼びます。

- |◯|を押してビューファインダを点灯させると、液晶モニタにスーパーコンパネが表示された状態になります。

スーパーコンパネの表示

① 機能の設定状態を表示します。
- ◁、△、▽、を押すと該当するアイコンが選択状態になり、設定することができます。

☞「ボタンで設定する」（P.39）

② 電池残量、フラッシュ充電中のマークが表示されます。

③ ④のエリアで選択している機能名が表示されます。カスタムボタン操作中も機能名が表示されます。選択状態でない場合は日付が表示されます。

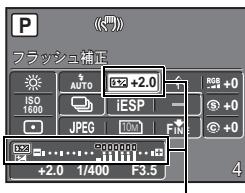
④ 以下の機能を設定することができます。
- 十字ボタンで機能を選択し、コントロールダイヤルで設定を切り換えます。

☞「スーパーコンパネの操作」（P.39）

機能名	参照頁	機能名	参照頁
ホワイトバランス	P.48	画質	P.42
フラッシュ	P.30	画像サイズ	P.42
フラッシュ補正	P.52	圧縮モード	P.43
ISO感度	P.49	仕上がり	P.53
ドライブ	P.49	シャープネス	P.53
AF方式	P.50	コントラスト	P.53
ターゲット選択	P.51	彩度	P.54
測光	P.50		

⑤ シャッター速度・絞り値と露出補正値・露出補正インジケータ・フラッシュ補正インジケータが表示されます。

⑥ 撮影可能枚数／撮影可能時間が表示されます。

スーパーコンパネの操作

フラッシュ補正値とフラッシュ補正インジケータが表示されます。

例）［フラッシュ補正］を設定する場合

1 ㊍を押すと、液晶モニタにスーパーコンパネが表示され、機能エリアにカーソルが点灯します。

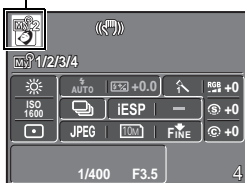
2 十字ボタンで［フラッシュ補正］を選択し、コントロールダイヤルで設定を変更します。
   - 選択できない項目はグレー表示されます。
   - 設定できない項目は「－」で表示されます。

ボタンで設定する

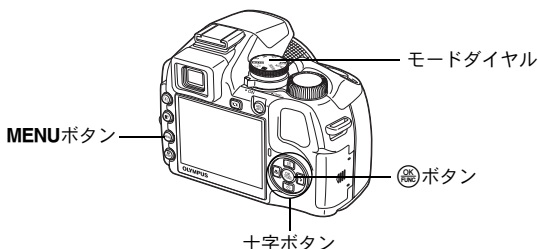
◁🌷を押した場合

◁🌷、△⎙、▽⏲、👤を押すと、スーパーコンパネの該当するアイコンが選択状態になり、コントロールダイヤルで設定を変更することができます。

マイモードを切り換える

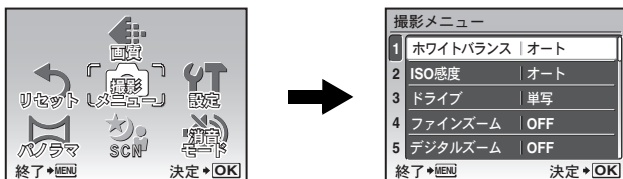
ここを選択します。

モードダイヤルがMyのときに設定できます。十字ボタンを押してMyを選択し、コントロールダイヤルでマイモードを切り換えます。

☞「マイモード設定　撮影に関する機能を設定して登録する」（P.69）

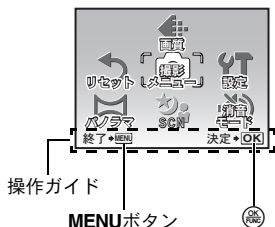
メニューを使って操作する

メニューの種類と構成

MENUを押すと、液晶モニタまたはビューファインダにトップメニューが表示されます。

• トップメニューに表示される内容は、モードによって異なります。

トップメニュー（モードダイヤルを**P**に合わせた場合）

• ［撮影メニュー］［再生メニュー］［編集］［消去］［設定］を選ぶと、さらにメニュー項目を選択する画面が表示されます。
• モードダイヤルを **GUIDE** に合わせ、撮影ガイドにしたがって設定をしたときは、**MENU**を押すと撮影ガイド画面が表示されます。

操作ガイド

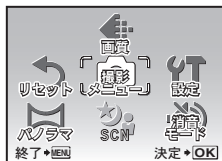
メニュー操作中は、使用するボタンとその機能が液晶モニタの下部に表示されます。ガイドにしたがって操作してください。

戻る→MENU ： 一つ前のメニューに戻ります。
終了→MENU ： メニューを終了します。
決定→OK ： 選択している項目を決定します。

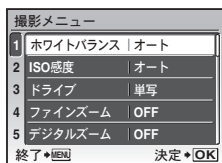
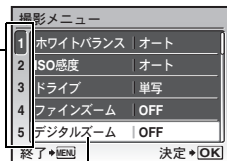
メニューの操作方法

ここでは、［デジタルズーム］の設定を例に、メニューの操作方法について説明します。

1 モードダイヤルをPに合わせます。

2 MENU を押してトップメニューを表示させます。［撮影メニュー］を選択し、㊋を押します。

- ［デジタルズーム］は［撮影メニュー］内のメニューです。ここでは㊋を押します。

3 △▽を押して［デジタルズーム］を選択し、㊋を押します。

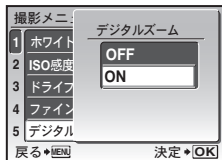
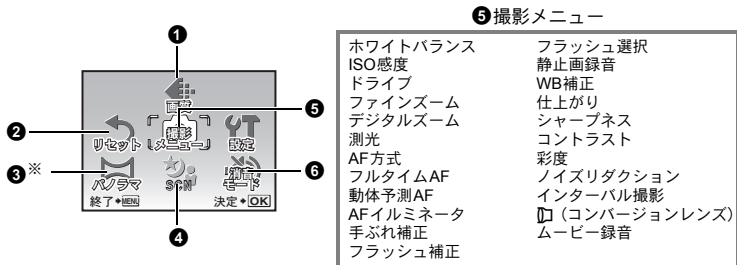
- 設定できない項目は選択できません。
- この画面で◁を押すと、カーソルがページ表示に移動します。△▽を押してページを切り替えることができます。項目選択に戻るときは▷または㊋を押します。

ページ表示：
次のページにも設定項目がある場合に表示されます。

選択した項目は色が変わって表示されます。

4 △▽を押して［OFF］または［ON］を選択し、㊋を押します。

- メニュー項目が設定され、一つ前のメニューに戻ります。MENUを繰り返し押してメニューを終了します。
- 変更を取り消してメニュー操作を続けたいときは、㊋を押して決定する前に、MENUを押します。

撮影に関するメニュー AUTO P A S M MY SCN 🎥

❺撮影メニュー

ホワイトバランス	フラッシュ選択
ISO感度	静止画録音
ドライブ	WB補正
ファインズーム	仕上がり
デジタルズーム	シャープネス
測光	コントラスト
AF方式	彩度
フルタイムAF	ノイズリダクション
動体予測AF	インターバル撮影
AFイルミネータ	（コンバージョンレンズ）
手ぶれ補正	ムービー録音
フラッシュ補正	

※ 当社製xD-ピクチャーカードが必要です。

- モードダイヤルの位置によっては、選択できないメニュー項目があります。

☞「撮影モード別設定可能な機能」（P.94）
☞「設定に関するメニュー」（P.63）

- メニュー項目の初期設定は　　　　で示しています。

❶ 画質　用途に合わせて画質を変更する

［画質］（静止画のみ）と［画像サイズ］、［圧縮モード］（ムービーの時は［フレームレート］）を設定します。

- ［画質］から［RAW］を選択した場合は、［画像サイズ］［圧縮モード］は設定できません。

静止画の画質の種類とその用途

画質	
JPEG	JPEG形式で圧縮した静止画データで、［画像サイズ］と［圧縮モード］を設定します。
RAW※ 3648×2736	画像処理を行わない撮影したままの生データで、ファイル形式はORFです。
RAW＋JPEG※	1回の撮影でJPEGとRAWの2種類の画像を同時に記録します。

※ AUTO、SCNのときは選択できません。

画像サイズ	使用例
10M 3648×2736	A3サイズの印刷に適しています。
5M 2560×1920	A4サイズの印刷に適しています。
3M 2048×1536	A4サイズ以下の印刷に適しています。
2M 1600×1200	A5サイズの印刷に適しています。
1M 1280×960	はがきサイズの印刷に適しています。
VGA 640×480	テレビで見たり、メールやホームページで使用するのに適しています。
16:9 1920×1080	風景など被写体のワイド感を表現したいときや、ワイドテレビで再生する場合に適しています。

圧縮モード

FINE	ファイン	高品質な画質で撮影できます。
NORM	ノーマル	標準的な画質で撮影できます。

ムービーの画質の種類

画像サイズ	
VGA	640×480
QVGA	320×240

フレームレート	
30	30コマ／秒
15	15コマ／秒

☞「内蔵メモリとカードの撮影可能枚数／撮影可能時間」（P.87）

❷ リセット　撮影機能を初期設定に戻す

中止	／実行

現在設定されている撮影機能を初期設定に戻します。

リセット機能を実行したときに設定が元に戻る機能

機能名	初期設定	参照頁
フラッシュ	AUTO	P.30
マクロ	OFF	P.34
セルフタイマー	OFF	P.35
顔検出パーフェクトショット	OFF	P.32
露出補正	0.0	P.29
画質	JPEG	P.42
画像サイズ（静止画／ムービー）	10M／QVGA	P.42
圧縮モード	NORM	P.43
フレームレート	15	P.43
ホワイトバランス	オート	P.48
ISO感度	オート	P.49
ドライブ	単写	P.49
ファインズーム	OFF	P.50
デジタルズーム	OFF	P.50
測光	ESP	P.50
AF方式	iESP	P.50
フルタイムAF	OFF	P.51

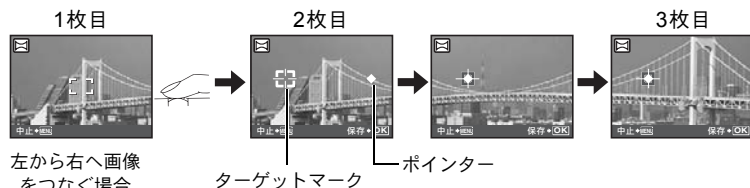
機能名	初期設定	参照頁
動体予測AF	OFF	P.51
AFイルミネータ	ON	P.51
手ぶれ補正	ON	P.52
フラッシュ補正	±0.0	P.52
フラッシュ選択	内蔵／外部	P.52
静止画録音	OFF	P.53
WB補正	±0	P.53
仕上がり	NATURAL	P.53
シャープネス	±0	P.53
コントラスト	±0	P.53
彩度	±0	P.54
ノイズリダクション	ON	P.54
インターバル撮影	OFF	P.54
（コンバージョンレンズ）	OFF	P.55
ムービー録音	OFF	P.55
液晶モニタ／ビューファインダ（）	液晶モニタ	P.30
SCN	ポートレート	P.46

❸ パノラマ　　パノラマ画像を合成する

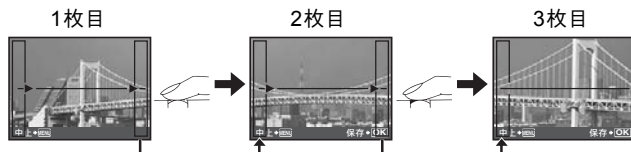
カメラで合成1	構図を変えていくと自動でシャッターが切れます。カメラが自動的にパノラマ画像を合成します。
カメラで合成2	手動でシャッターを切ります。撮影した画像は、カメラが自動的にパノラマ画像を合成します。
PCで合成	パソコンで合成するための画像を手動で撮影します。

- 撮影には当社製のxD-ピクチャーカードが必要です。
- カードの空き容量が不足している場合は、この機能は選択できません。

[カメラで合成1]

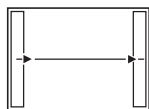
自動でシャッターが切れ、本機で画像を合成します。合成された画像のみが保存されます。

- 1枚目を撮影します。
- 2 枚目を撮る方向にカメラを少し向けると、ターゲットマークとポインターが表示されます。
- カメラを動かすとポインターが移動します。ぶれないようにゆっくりとまっすぐに動かし、ポインターがターゲットマークに重なる位置でカメラを止めます。
- 自動的にシャッターが切れます。
- 画面に被写体が表示されたら、2枚目と同じように3枚目を撮影します。
- 3 枚目の撮影が終わると自動的に合成処理が行われ、合成された画像が表示されます。2枚だけ合成するときは、3枚目の画像を撮影する前に(OK/FUNC)を押します。
- 撮影の途中で合成を中止するときは、**MENU**を押します。

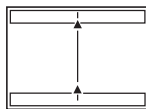
[カメラで合成2]

手動でシャッターを切り、本機で画像を合成します。合成された画像のみが保存されます。

- 十字ボタンで次の画像をつなげる方向を指定し、1枚目を撮影します。
- 1枚目の画像の一部が枠内に表示されますので、枠内の画像と2枚目の画像の端がつながるように構図を決め、2枚目を撮影します。
- 2枚目と同じように3枚目を撮影します。
- 3 枚目の撮影が終わると自動的に合成処理が行われ、合成された画像が表示されます。2枚だけ合成するときは、3枚目の画像を撮影する前にOK/FUNCを押します。
- 撮影の途中で合成を中止するときは、**MENU**を押します。

［PCで合成］

OLYMPUS Master（付属のCD-ROMに収録）を使って、パノラマ画像を作成するための撮影をします。

▷：次の画像を右につなげます。
◁：次の画像を左につなげます。

左から右へ画像をつなぐ撮影をする場合

△：次の画像を上につなげます。
▽：次の画像を下につなげます。

下から上へ画像をつなぐ撮影をする場合

十字ボタンでつなげる方向を指定し、被写体の端が重なるように構図を変えながら撮影します。
最大10枚まで撮影が可能です。終了するときはOK/FUNCを押します。

- ［PCで合成］では、前に撮影した位置合わせ用の画像は残りません。画面に表示される枠を目安に画像の位置を覚えておき、枠の中に前に撮影した画像の端が重なるように構図を変えてください。

ご注意

- 1枚目の撮影で、ピント、露出、ホワイトバランス、ズーム位置が決定されます。また、フラッシュは発光しません。
- ［カメラで合成1］［カメラで合成2］では画質が固定されます。
- 光学ズームの拡大率は10倍までに制限されます。
- ［カメラで合成 1］では、このモードに最適な設定で撮影されます。［カメラで合成 2］［PCで合成］では、直前のISO感度設定やシーンモード設定で撮影ができます（一部のシーンモードを除く）。
- 顔検出パーフェクトショットは使用できません。
- 撮影したパノラマ画像は［かんたん補正］の［自動明るさ補正］以外の編集操作はできません。

❹ SCN（シーン） 被写体に合った撮影シーンを選んで撮影する

ポートレート／風景／風景＆人物／スポーツ／夜景※1／夜景＆人物※1／
屋内撮影／キャンドル／自分撮り／寝顔／夕日／打ち上げ花火※1／
多重露光花火／料理／ガラス越し／文書／オークション※2／
ショット＆セレクト1※2／ショット＆セレクト2※3／スマイルショット／
ビーチ／スノー／シャッターチャンス

シーン選択画面に、サンプル画像とどのような撮影に適しているかが表示されます。モードダイヤルがSCNのときのみ設定できます。

☞「モードダイヤル　撮影／再生を切り換える」(P.22)

- 他のシーンに切り換えると、一部の設定を除き、各シーンの初期設定に戻ります。またシーンによっては、ズーム位置が自動で変わる場合もあります。

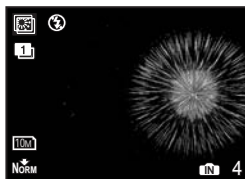
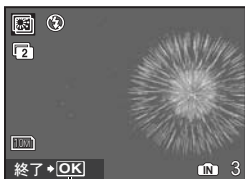
シーン選択画面

シーンを決定します。

※1 被写体が暗いときはノイズリダクションが自動的に働きます。そのときは撮影時間が通常の2倍になり、その間次の撮影はできません。
※2 最初の1コマでピントが固定されます。
※3 1コマごとにピントを合わせて連写します。

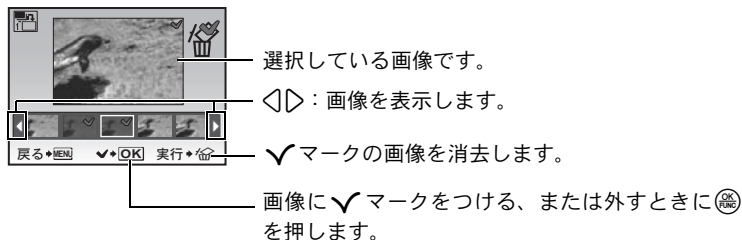
［多重露光花火］について

- 2枚の多重露出撮影をします。
- 1枚目を撮影します。1枚目の保存後にその画像が背景に表示されるので、構図を調整して2枚目を撮影します。2枚目が保存され、さらに2枚が合成された画像も別画像として保存されます。保存中に合成画像が表示され、保存後は2枚目の撮影状態に戻ります。引き続き多重撮影ができます。
- 1枚目の撮影時に露出が固定されます。

1枚目撮影状態

2枚目撮影状態

1枚目の撮影に戻るときは㊡を押します。

メニューを使って操作する

［ショット＆セレクト1］［ショット＆セレクト2］について

• シャッターボタンを押し続けて撮影します。撮影後、消去する画像を選択して✓マークを付け、/を押して消去します。

［スマイルショット］について

• 撮影待機中に笑顔を検出すると、自動的に高速連写で3コマ撮影します。シャッターボタンを押しても撮影することができます。
• 被写体によっては、笑顔を検出できない場合があります。
• ［スマイルショット］に設定すると、セルフタイマーランプが点灯します。セルフタイマーランプが点滅しているときは撮影できません。

［シャッターチャンス］について

• 通常よりレリーズタイムラグが短くなります。シャッターチャンスを逃したくない撮影に有効です。
• ［フルタイムAF］が自動的に［ON］になります。

☞「フルタイムAF　被写体にピントを合わせ続けて撮影する」（P.51）

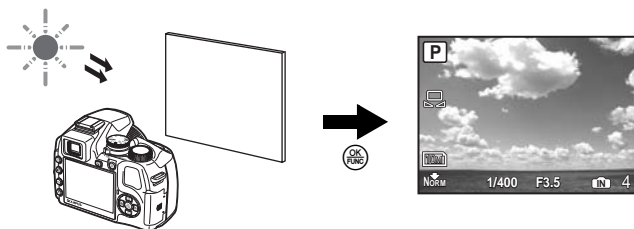
• ［ドライブ］の［高速連写1］、［高速連写2］の設定ができます。

ホワイトバランス .... 画像の色合いを調整する

オート		光源によらず、自然な色合いで写るよう自動的に調整
プリセット		光源に応じてホワイトバランスを選択します。
晴天	☼	晴れた屋外で撮影
曇天	☁	曇った屋外で撮影
電球		電球の灯りで撮影
蛍光灯1		昼光色の蛍光灯の灯りでの撮影（主に家庭で使用する蛍光灯など）
蛍光灯2		昼白色の蛍光灯の灯りで撮影（主にデスクのスタンドなど）
蛍光灯3		白色の蛍光灯の灯りで撮影（主にオフィスなど）
ワンタッチ		プリセットホワイトバランスでは調整しきれない微妙な色合いを設定します。 実際の撮影状況に最適なホワイトバランスをカメラに記憶させることができます。

［プリセット］を選択した場合

△▽でホワイトバランスの種類を選択し、Ⓞを押します。

［ワンタッチ］を選択した場合

- ［ワンタッチホワイトバランス］画面が表示された状態で、カメラを白い紙に向けます。紙は画面いっぱいになるように置き、影の部分ができないようにしてください。
- Ⓞを押すと、新しいホワイトバランスが設定されます。

ISO感度 ……………………………………… ISO感度を変更する

オート	被写体の条件に合わせて自動的に感度が変わります。
高感度オート	[オート]よりも高感度になり、撮影時の手ぶれ、被写体のぶれによる画像の揺れを軽減します。
64/100/200/400/800/1600/3200/6400	数値が小さいと感度が低くなり、日中の撮影に最適でシャープな画像を撮ることができます。数値が大きいほど感度が高く、速いシャッター速度で撮影ができます。より暗いところ(光量が少ないところ)での撮影が可能になりますが、感度が高くなるにつれ電気的なノイズが増えて画像が粗くなります。

- [6400]に設定すると[画像サイズ]が[5M]以下に制限されます。
- [ファインズーム]または[デジタルズーム]が[ON]のとき、[6400]は設定できません。

ドライブ ……………………………………… 連続して撮影する

単写	一度シャッターを押すと、1コマだけ撮影されます。
連写	最初の1コマでピント、明るさ(露出)が固定されます。記録する画質設定によって連写速度が異なります。
高速連写1	通常の連写より高速で連写できます。
高速連写2	約13.5コマ/秒の速度で連写できます。 • [プリキャプチャー]を設定します。[ON]にすると、半押ししたときから撮影直前までの10コマ分の画像が同時に保存されます。 プリキャプチャー　OFF／ON
AF連写	1コマごとにピントを合わせます。連写速度は遅くなります。
BKT	1コマごとに自動的に露出を変えて連続撮影します(ブラケット撮影)。最初の1コマで、ピント、ホワイトバランスが固定されます。 • ブラケット撮影時の露出差と撮影枚数を設定します。 露出差　±0.3／±0.7／±1.0 撮影枚数　×3／×5

シャッターボタンを押している間、静止画を連続して撮影します。シャッターボタンから指をはなすと連写は止まります。

- [画質]が[RAW]、[RAW+JPEG]の場合、[単写]以外設定できません。
- [高速連写1][高速連写2]に設定すると、他の機能が次のように制限されます。
  - フラッシュが[発光禁止]に固定される。
  - [高速連写1]は[画像サイズ]が[5M]以下に制限され、連続して撮影できる枚数は約30枚以下になる([5M][FINE]のときのみ約20枚以下)。[高速連写2]は[3M]以下で、約30枚以下になる([プリキャプチャー]が[ON]時の10枚を含む)。
  - 設定できる[ISO感度]が制限される。

ファインズーム .... 画質を落とさず被写体を大きく撮影する

OFF ／ON

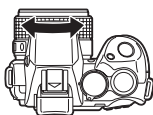
光学ズームと画像切り出しを組み合わせ拡大して撮影できます（最大30倍）。少ない画素数のデータを多い画素数に変換する処理を行わないために、これによる画質の劣化はありません。

- ［画像サイズ］が［3M］以下に制限されます。
- ［ファインズーム］と［デジタルズーム］を組み合わせて使うことはできません。

デジタルズーム .... 被写体を大きく撮影する

OFF ／ON

光学ズームよりさらに拡大して撮影できます。

光学ズーム

デジタルズーム

最大倍率：
静止画撮影モード
光学ズーム×デジタルズーム：最大約100倍
ムービー撮影モード
光学ズーム×デジタルズーム：最大約60倍

ズームバー
白色表示：光学ズームの領域
黄色表示：デジタルズームの領域

測光 .... 明るさを測る範囲を変える

ESP	画面の中央と周辺を個別に測光して画面全体でバランスのとれた撮影を行います。強い逆光では、中央が暗く撮影されることがあります。
スポット	AFターゲットマークの範囲のみを測光するので、逆光での被写体を撮るのに適しています。
中央重点	画面の中央部に重点をおいた広い範囲を測光し、露出を決定します。周辺部の明るさを影響させたくないときに使用します。

AF方式 .... ピントを合わせる範囲を変える

顔検出	画面の範囲内から人物の顔を検出し、検出された顔にピントを合わせます。検出された位置に枠が表示されます。
iESP	画面の範囲内からピントを合わせる被写体を判断します。被写体が中央にない場合もピントが合います。
スポット	AFターゲットマーク内の被写体にピントを合わせます。
ターゲット選択	AFターゲットマークの位置を移動させて、ピントを合わせるエリアを選択して撮影します。

- ［顔検出］は被写体によって顔を検出できない場合があります。
- ［ファインズーム］または［デジタルズーム］が［ON］のとき、［ターゲット選択］は設定できません。

［ターゲット選択］を選択した場合

- AFターゲットマークを移動するとき
  AFターゲットマークが⛶になります。十字ボタンを押して位置を移動します。
  この状態で撮影することもできます。
- AFターゲットマークの位置を確定するとき
  OK/FUNCを長押しします。
  AFターゲットマークの位置を変更したいときは、もう一度OK/FUNCを長押しします。

フルタイムAF .... 被写体にピントを合わせ続けて撮影する

OFF	シャッターボタンを半押ししてピントを合わせます。
ON	シャッターボタンを半押ししなくても、常にレンズの前のものにピントを合わせ続けます。ピント合わせの時間が短縮され、シャッターチャンスを逃すことなく撮影できます。ムービー撮影中も自動的に被写体にピントを合わせ続けます。

動体予測AF .... 前後に移動する被写体にピントを合わせて撮影する

OFF	動体予測AFを解除します。
ON	設定後、AFターゲットマークを被写体に合わせて半押ししてから撮影します。

- シャッターボタンを半押ししている間、動体予測AFが機能します（AF点滅）。
- 被写体によっては、［動体予測 AF］を設定してもピントが合わないことがあります。
- マクロ、スーパーマクロ設定時は、［動体予測AF］は設定できません。

AFイルミネータ .... 暗いところで補助光を光らせる

OFF	AFイルミネータは点灯しません。
ON	シャッターボタンを半押しすると自動的にAFイルミネータが点灯し、暗いところでのピント合わせが可能になります。

手ぶれ補正 .... 手ぶれ補正機能を使って撮影する

撮影時の手ぶれによる画像の揺れを軽減します。

OFF	手ぶれ補正機能を解除します。
ON	シャッターボタンの半押しから手ぶれ補正が機能します。

- カメラを固定して撮影するとき（三脚使用時など）は、［OFF］に設定してください。
- 手ぶれが大きいと、補正できないことがあります。
- 夜間撮影など、シャッター速度が極端に遅くなるときは、手ぶれ補正機能が効きにくくなることがあります。

フラッシュ補正 .... フラッシュの発光量を調節する

被写体が小さい、被写体の背景が遠いなど、場合によってはフラッシュの発光量を調節したほうがよい場合があります。また、コントラスト(明暗差)を意図的につけたいときにもこの機能が便利です。

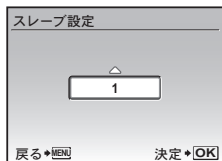
-2.0EV～	0.0	～+2.0EV

△▽を押して調整し、㊋を押します。

フラッシュ選択 .... 外部フラッシュを使うときの設定をする

内蔵／外部	内蔵または専用外部フラッシュを使って撮影します。 ☞「外部フラッシュを使って撮る」（P.100）
⚡RC	オリンパスワイヤレスRCフラッシュシステムに対応しているフラッシュを使用して撮影します。 ☞「オリンパスワイヤレス RC フラッシュシステムによる撮影」（P.102）
スレーブ	フラッシュ光に同期して発光する市販のスレーブフラッシュを使う場合､フラッシュの発光量を10段階に設定できます。

発光量を選択する場合

- ［スレーブ］に設定すると、［⚡発光禁止］を除きいずれのフラッシュモードに設定していても、［⚡強制発光］に自動的に設定が変更されます。

△▽を押して［1］～［10］を選択し、㊋を押します。数字が大きいほど、発光量は大きくなります。

- 連写を設定してもフラッシュを発光することができますが、発光量を大きくすると、連写の間隔が長くなります。

静止画録音 ……………………………… 撮影時に音声を録音する

OFF	／ON

撮影後、自動的に録音がスタートして約４秒間録音します。
録音中は、カメラのマイクを録音する対象に向けてください。

WB補正 ……………………………… ホワイトバランスの補正値を調整する

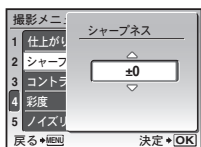
•［BLUE］方向、［RED］方向ともそれぞれ7段階の調節が可能です。

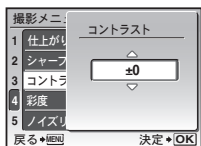
△ ：押すたびに青みがかかります。
▽ ：押すたびに赤みがかかります。

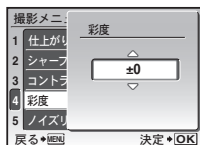
設定が決まったら㊖を押します。

仕上がり ……………………………… 画像の色調を調整する

VIVID	色鮮やかに仕上げます。
NATURAL	自然な色合いに仕上げます。

シャープネス ……………………………… 画像の鮮鋭度を調整する

△（＋方向に調整）：輪郭を強調し、くっきりとした画像になります。＋方向に調整しすぎると、画像にノイズが目立つ場合があります。
▽（－方向に調整）：画像の輪郭がソフトになります。

コントラスト ……………………………… 画像の明暗の差を調整する

△（＋方向に調整）：明暗の差がより大きくなりメリハリのある画像になります。
▽（－方向に調整）：明暗の差がより小さくなり、比較的柔らかい印象の画質になりなす。

彩度 ………………………………………… 画像の色の濃さを調整する

△（＋方向に調整）：色が濃くなります。
▽（－方向に調整）：色が薄くなります。

ノイズリダクション ………… 長時間露出時に発生するノイズを軽減する

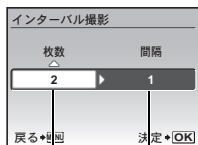
OFF	ノイズを軽減しません。遅いシャッター速度で撮影すると、画像にノイズが目立つ場合があります。
ON	ノイズを軽減します。撮影時間は通常の2倍になり、この間、次の撮影はできません。シャッター速度が1/2より遅いときに動作します。

- 撮影条件や被写体により効果が出にくい場合があります。

インターバル撮影 ………………… 設定した条件で自動的に撮影する

OFF	インターバル撮影を解除します。
ON	インターバル撮影を設定します。

撮影枚数：2～99枚

撮影間隔：1分刻みで1～99分

インターバル撮影を設定した場合

- ◁▷を押して［枚数］［間隔］を選択します。
- △▽を押して数値を設定します。
- OK/FUNCを押して設定します。
- シャッターボタンを押すと1枚目が撮影され、2枚目以降は自動的に撮影が繰り返されます。
- インターバル撮影中は液晶モニタにマークが点灯します。
- 1枚目撮影後、内蔵メモリまたはカードへの記録が終わると、自動的にスリープモードに入ります。撮影4秒前までにスリープモードから自動的に復帰します。
- 設定した枚数が終わると、自動的に電源が切れます。

- 撮影が長時間におよぶ場合は、新しい電池またはACアダプタのご使用をおすすめします。
- スリープモード中に以下の操作をした場合、インターバル撮影は解除され、通常の撮影モードに戻ります。
  電池カバーまたはカードカバーを開けた場合／カメラをパソコンに接続した場合／シャッターボタン、十字ボタンなどいずれかのボタンを操作した場合
- インターバル撮影中、内蔵メモリ・カードおよび電池の残量がなくなると警告画面が表示され、インターバル撮影を中止して自動的に電源が切れます。

[conversion lens icon] ………………………………… コンバージョンレンズを取り付けて撮影する

OFF ／ON

別売の専用コンバージョンレンズを、カメラに取り付けて撮影するときに設定します。

- コンバージョンレンズを取り付けた場合、内蔵フラッシュの光はけられます。フラッシュを使用するときは外部フラッシュを使用してください。
- コンバージョンレンズを取り付けた場合、ピント合わせに時間がかかることがあります。

ムービー録音 ……………………………… ムービー撮影時に音声を録音する

OFF ／ON

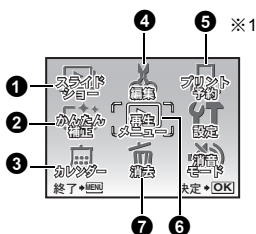
- 録音対象がカメラから 1m 以上はなれるときれいに録音されない場合があります。
- ［ムービー録音］を［ON］に設定すると、［手ぶれ補正］はできません。
- ［ムービー録音］が［ON］のとき［フルタイムAF］を［ON］に設定すると、レンズの作動音が録音されることがあります。

❻ 消音モード　操作音などの音を鳴らさない設定にする

OFF ／ON

撮影や再生時の操作音、警告音、シャッター音などの音を鳴らないように設定します。

再生に関するメニュー
❹編集

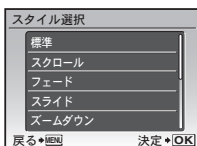
RAW編集※2
リサイズ※2
トリミング※2
カラー編集※2
フレーム合成※2
タイトル合成※2
カレンダー合成※2
レイアウト合成※2
ファニーフェイス※2
センターフォーカス※2
インデックス作成※3
ムービー編集※3
切り出し※3

❻再生メニュー

プロテクト
回転表示
録音
チャプター

※1 カードが必要です。
※2 ムービーを選択したときは表示されません。
※3 静止画を選択したときは表示されません。

☞「設定に関するメニュー」（P.63）
「消音モード　操作音などの音を鳴らさない設定にする」（P.55）

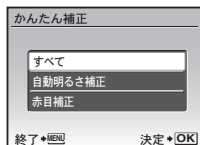
• メニュー項目の初期設定は　　　で示しています。

❶ スライドショー　画像を自動再生する

• ［スタイル選択］から画像の表示スタイルを選択し、Ⓞを押すと、［BGM］の選択画面になります。［BGM］選択後、Ⓞを押すとスライドショーがスタートします。

スタイル選択	標準／スクロール／フェード／スライド／ズームダウン／ズームアップ／モザイク／ブラインド／キューブスピン／ランダム
BGM	OFF／1／2

• ムービーコマは、最初のフレームのみが静止画と同じように再生されます。
• スライドショーを中止するときは、ⓄまたはMENUを押します。

❷ かんたん補正 画像を補正する

撮影した画像を補正して別の画像として保存します。

- △▽で補正する項目を選択し、㊎を押します。
- ◁▷で画像を選択し、㊎を押します。

すべて	暗い部分の明るさ、赤目の補正を1回で行います。
自動明るさ補正	画像の暗い部分の補正のみを行います。逆光や光量不足で暗くなってしまった部分を明るく補正します。
赤目補正	赤目の補正のみ行います。

- ［赤目補正］を選択して赤目が検出されなかったときは、◁を押して補正を中止してください。
- ムービー、他のカメラで撮影した画像や加工（編集・補正）した画像は補正できません。
- 画像によっては補正効果が得られない場合があります。
- 補正により画像が粗くなる場合があります。

❸ カレンダー 画像をカレンダー再生する

撮影した日付ごとに、画像をカレンダー形式で再生します。

❹ 編集

RAW編集 .... RAW形式で記録した画像を編集する

RAWデータ形式で記録した画像に画像処理を行って、JPEGの別の画像として保存します。

［RAW編集］で設定可能な項目

項目	詳細設定	参照頁
画質	画像サイズ：10M／5M／3M／2M／1M／VGA／16:9 圧縮モード：FINE／NORM	P.42 P.43
ホワイトバランス	オート／プリセット／ワンタッチ※	P.48
WB補正	RED7～BLUE7	P.53
仕上がり	VIVID／NATURAL	P.53
シャープネス	-5～＋5	P.53
コントラスト	-5～＋5	P.53
彩度	-5～＋5	P.54

※ 撮影時のホワイトバランスの設定が［ワンタッチ］の場合のみ選択できます。

リサイズ　………………………………… 撮った画像のサイズを変更する

VGA 640×480　／QVGA 320×240

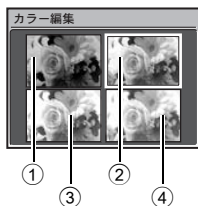
静止画の画像サイズを変更し、別の画像として保存します。

トリミング　………………………………… 撮った画像の一部を切り出す

静止画のエリアを指定してトリミングし、別の画像として保存します。

- ◁▷でトリミングする画像を選択し、OKを押します。
- 十字ボタンとコントロールダイヤルでトリミング枠の位置と大きさを調整し、OKを押します。

カラー編集　………………………………… 撮った画像の色合いを変更する

画像の色合いを変更して、別の画像として保存します。

- ◁▷で画像を選択し、OKを押します。
- 十字ボタンで希望の色合いを選択し、OKを押します。

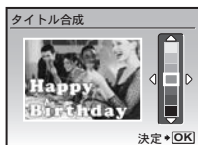
① モノクロ作成	白黒の静止画を作成します。
② セピア作成	セピア色の静止画を作成します。
③ 鮮やかさ（強）	彩度を強くした静止画を作成します。
④ 鮮やかさ（弱）	彩度をやや強くした静止画を作成します。

フレーム合成　………………………………… 撮った画像にフレームを合成する

フレームを選択して画像と合成し、別の画像として保存します。

- ◁▷で合成する画像を選択し、OKを押します。
  （△▽を押して画像を時計方向に90度ずつ、反時計方向に90度ずつ回転することができます。）
- ◁▷でフレームを選択し、OKを押します。
- 十字ボタンとコントロールダイヤルで画像の位置と大きさを調整し、OKを押します。

タイトル合成 ………………………………… 撮った画像にタイトルを合成する

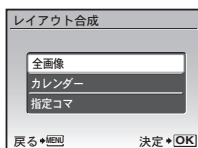
タイトルを選択して画像と合成し、別の画像として保存します。

- ◁▷で画像を選択し、Ⓞを押します。
- ◁▷でタイトルを選択し、Ⓞを押します。（△▽を押してタイトルを時計方向に90度ずつ、反時計方向に90度ずつ回転することができます。）
- 十字ボタンとコントロールダイヤルでタイトルの位置と大きさを調整し、Ⓞを押します。
- 十字ボタンでタイトルの色を設定し、Ⓞを押します。

カレンダー合成 ………………………… 撮った画像にカレンダーを合成する

カレンダーを選択して画像と合成し、別の画像として保存します。

- ◁▷で画像を選択し、Ⓞを押します。
- ◁▷でカレンダーを選択し、Ⓞを押します。（△▽を押して画像を時計方向に90度ずつ、反時計方向に90度ずつ回転することができます。）
- カレンダーの日付を設定し、Ⓞを押します。

レイアウト合成 ……………………………… 複数の画像を配置して合成する

全画像	内蔵メモリまたはカード内のすべての画像をレイアウト合成します。
カレンダー	1ヶ月表示してレイアウト合成する画像を日単位で選択します。
指定コマ	レイアウト合成する画像を1コマずつ指定します。

- ◁▷でレイアウトを選択し、Ⓞを押します。
- レイアウト合成する画像の種類を選択し、Ⓞを押します。
- 画像を選択し、Ⓞを押します。（［レイアウト合成］画面で［指定コマ］を選択したときは、△▽を押して画像を時計方向に90度ずつ、反時計方向に90度ずつ回転することができます。）

ファニーフェイス ………………………… 撮った写真の中の顔を変形する

正面向きで一番大きく写っている顔を変更させて、別の画像として保存します。

- ◁▷で画像を選択し、Ⓞを押します。
- 十字ボタンを押して目的の効果を選択し、Ⓞを押します。
- 被写体によっては顔を正しく検出できない場合があります。

センターフォーカス .... 撮った写真の中で顔を目立たせる

正面向きで一番大きく写っている顔が目立つように画像を編集して、別の画像として保存します。

- ◁▷で画像を選択し、Ⓞを押します。
- 被写体によっては顔を正しく検出できない場合があります。

インデックス作成 .... ムービーからインデックス画像を作る

ムービーの内容がわかるように、ムービーから9コマの画像を抜き出して一つの静止画として新規保存します。

- ◁▷でムービーを選択し、Ⓞを押します。
- 十字ボタンで先頭のコマを選択し、Ⓞを押します。同様に最後尾のコマを選択し、Ⓞを押します。

ムービー編集 .... ムービーの一部を切り出す

ムービーの一部を指定して上書き保存するか､別のムービーとして保存します。

- ［新規作成］または［上書き保存］を選択し、Ⓞを押します。
- 十字ボタンで先頭のコマを選択し、Ⓞを押します。同様に最後尾のコマを選択し、Ⓞを押します。

切り出し .... ムービーから静止画を切り出す

撮影したムービーを切り出し、JPEGの静止画として保存します。

- ◁▷でムービーを選択し、Ⓞを押します。
- 十字ボタンで切り出すコマを選択し､Ⓞを押します。

❺ プリント予約　　プリント予約（DPOF）する

カード内の画像にプリントする枚数や日付を印刷する指定を記録させます。

☞「プリント予約（DPOF）」（P.74）

❻ 再生メニュー

プロテクト ………………………………… 画像を保護する

OFF	／ON

プロテクトされた画像は［1コマ消去］［選択消去］［全コマ消去］では消去できませんが、初期化を行うとすべて消去されます。

- ◁▷で画像を選択し、プロテクトするときは△▽で［ON］を選択します。続けて複数のコマをプロテクトすることができます。プロテクトすると、液晶モニタに🔑が表示されます。

回転表示 ………………………………… 画像を回転させる

+90°	／0°	／-90°

カメラを縦に構えて撮影した画像は、横向きに表示されます。このような横向きの画像を回転して縦向きに表示します。電源を切っても、画像が回転された状態は保持されます。

+90° 0° -90°

◁▷で画像を選択し、回転表示するときは△▽で［+90°］／［0°］／［-90°］を選択します。続けて複数のコマを回転表示することができます。

録音 ………………………………… 撮った画像に音声を録音する

実行	／中止

音声は約4秒間録音できます。

- ◁▷で画像を選択し、［実行］を選択してOKを押すと録音が始まります。
- 録音中を示すバーが表示されます。

チャプター ………………………… ムービーの再生開始位置を選択する

指定した位置からムービーを再生します。

- 十字ボタンでコマを選択します。㊊を押すと選択したコマから再生が始まります。
- コントロールダイヤルで分割数を変えることができます。

❼ 消去 画像を選んで消去する／すべて消去する

プロテクトされている場合は消去できません。画像のプロテクトを解除してから消去してください。また、消去した画像は元に戻せません。消去する前に大切なデータを消さないように十分に注意してください。

- 内蔵メモリの画像を消去するときは、カードをカメラに入れないでください。
- カード内の画像を消去するときは、あらかじめカードをカメラに入れてください。
- 内蔵メモリまたはカードのどちらを使用しているかは、液晶モニタの表示で確認できます。

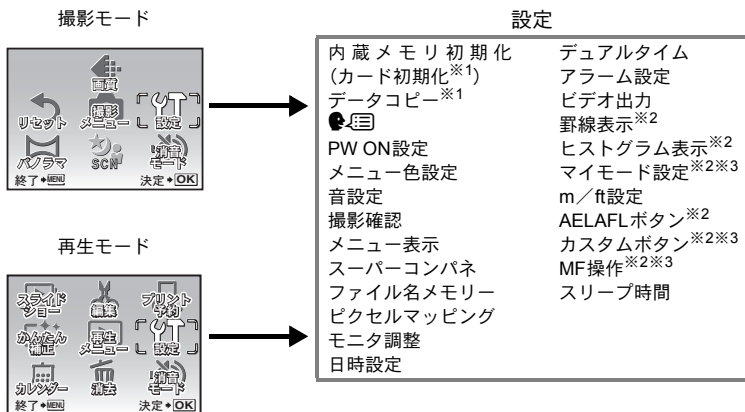
☞「内蔵メモリとカードの関係」（P.104）

選択消去 ………………………… 1コマずつ選んで消去する

- 十字ボタンで画像を選んで㊊を押して✓マークを付けます。
- 再度㊊を押すと選択が解除されます。
- 選択が終了したら⧉/🗑を押します。
- ［消去］を選択し、㊊を押します。

全コマ消去 ………………………… 内蔵メモリ／カードの画像をすべて消去する

- ［消去］を選択し、㊊を押します。

設定に関するメニュー

※1 カードが必要です。
※2 モードダイヤルが🎥のときは、選択できません。
※3 モードダイヤルがAUTOのときは、選択できません。

内蔵メモリ初期化（カード初期化） ...... 内蔵メモリ／カードを初期化する

初期化するとプロテクトをかけた画像を含むすべてのデータは消去されます。初期化するときは大切なデータが記録されていないことを確認してください。

- 内蔵メモリを初期化する場合は、カードを入れないでください。
- カードを初期化する場合は、あらかじめカードを入れてください。
- 当社製以外のカードやパソコンで初期化したカードを使用する場合は、必ずこのカメラで初期化し直してください。

データコピー .... 内蔵メモリの画像をカードにコピーする

別売のカードをカメラに入れてください。データコピーをしても内蔵メモリ内の画像は消去されません。

- データコピーは時間がかかります。実行前に電池の残量が充分にあることを確認してください。またはACアダプタをご使用ください。

.... 表示する言語を切り換える

液晶モニタのメニュー表示やエラーメッセージを日本語でなく、他の言語にすることができます。日本語に戻すこともできます。
OLYMPUS Masterを使って、表示する言語を増やすことができます。

PW ON設定 .... 起動画面／音の種類を設定する

画面	OFF（画像表示なし）／	1	／2
音量	OFF（無音）／	小	／大

- ［2］を選択して㊇を押すと、内蔵メモリまたはカードに保存されている静止画を起動画面に設定できます。
- ［画面］を［OFF］に設定しているときは、［音量」の設定はできません。

メニュー色設定 .... メニュー画面の色を設定する

標準	／カラー1	／カラー2	／カラー3

音設定 .... カメラから出力される音を設定する

［音設定］では以下のような設定ができます。

- ボタンを押したときの操作音の種類と音量を設定する（操作音）
- シャッターボタンを押したときの音色と音量を設定する（シャッター音）
- カメラの警告音の音量を設定する（警告音）
- 画像を再生するときの音量を設定する（再生音量）

操作音	種類	1	／2	
	音量	OFF（無音）／	小	／大
シャッター音	種類	1	／2	／3
	音量	OFF（無音）／	小	／大
警告音		OFF（無音）／	小	／大
再生音量		• 十字ボタンの△▽を押して音量を調整します。 • ［OFF］、1～5の段階に調整することができます。		

- ［消音モード］では、音を鳴らさないように一度で設定できます。

☞「消音モード　操作音などの音を鳴らさない設定にする」（P.55）

撮影確認 .... 撮影後すぐに画像を確認する

OFF	記録中の画像は表示されません。次の撮影のために被写体を追いながら撮影する場合に便利です。
ON	撮影した画像を記録中に表示します。撮影した画像の簡単なチェックに便利です。表示中でもすぐに次の撮影に入ることができます。 • ［ON］に設定すると、撮影した画像を記録中に、液晶モニタに表示するかビューファインダに表示するかを設定します。 LCD：記録中の画像は、常に液晶モニタに表示します。 保持：記録中の画像は、ビューファインダ使用時はビューファインダに、液晶モニタ使用時は液晶モニタに表示します。

メニュー表示 ……………………… メニュー表示などを液晶モニタに表示する

次の操作をしたときに、液晶モニタに表示するかビューファインダに表示するかを設定します。

- **MENU**を押したとき
- 再生モードで /を押したとき
- 撮影モードで/を押したとき

LCD	常に液晶モニタに表示します。
保持	ビューファインダ使用時はビューファインダに、液晶モニタ使用時は液晶モニタに表示します。

スーパーコンパネ …… スーパーコンパネとファンクションメニューを切り換える

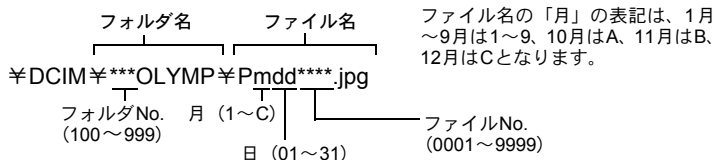
OFF	液晶モニタまたはビューファインダにファンクションメニューを表示します。
ON	液晶モニタにスーパーコンパネを表示します。

☞「ボタン（OK/FUNC） スーパーコンパネ・ファンクションメニューで設定する」（P.35）
「スーパーコンパネを使って操作する」（P.37）

ファイル名メモリー ……………………… 画像のファイル名をリセットする

リセット	カードを入れ換えたときにフォルダNo.、ファイルNo.が両方ともリセットされます。フォルダNo.は「No.100」に、ファイルNo.は「No.0001」に戻ります。
オート	カードを入れ換えても、フォルダNo.、ファイルNo.とも前のカードから継続されます。複数のカードを管理するときでも、ファイル名が重複することがありません。

フォルダ名／ファイル名の構造

ファイル名の「月」の表記は、1月～9月は1～9、10月はA、11月はB、12月はCとなります。

ピクセルマッピング ……………………………… 画像処理機能を調整する

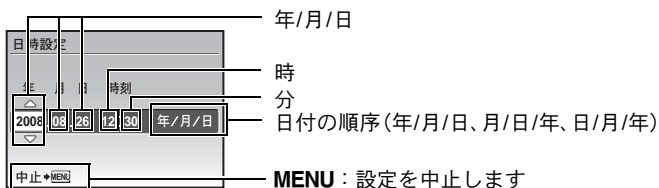
CCDと画像処理機能のチェックと調整を同時に行います。この機能は、すでに工場出荷時に調整済みのため、お買い上げ後すぐに調整する必要はありません。調整は、年に一度を目安とし、最適な効果を得るため、撮影・再生直後より1分以上時間を空けて実行します。処理中にカメラの電源を切ってしまった場合は、必ずもう一度このチェックを行ってください。
［ピクセルマッピング］を選択して［スタート］が表示されたら、を押します。

モニタ調整 .... 液晶モニタの明るさを調整する

△：明るくなる
▽：暗くなる

設定が決まったら㊍を押します。

日時設定 .... 日付・時刻を設定する

日時の情報は画像とともに記録され、日時の情報をもとにファイル名が付けられます。

- ［年］の上 2 桁は固定されています。
- カメラの時間表示は24時間表示です。
- カーソルが「分」または［年/月/日］のときに0秒の時報に合わせて㊍を押すと、正確に時間を合わせられます。

デュアルタイム .... 時差をつけて日時設定する

OFF	［日時設定］で設定した時刻に切り換えます。撮影した画像は、［日時設定］で設定した日時で記録されます。
ON	［デュアルタイム］で設定した時刻に切り換えます。デュアルタイムを設定するとき、［ON］を選択してから時刻を設定します。撮影した画像は、［デュアルタイム］で設定した日時で記録されます。

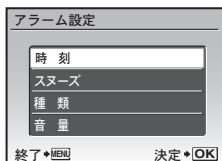
MENU：設定を中止します

- 日付は、［日時設定］で設定した順序になります。
- ［年］の上 2 桁は固定されています。
- カメラの時間表示は24時間表示です。

アラーム設定 .... アラームを設定する

OFF	アラームの設定なし／解除
1回	1回のみアラームを実行します。アラーム実行後は、設定が解除されます。
毎日	毎日、設定した時間にアラームを実行します。

- ［日時設定］が設定されていない場合は、［アラーム設定］はできません。
- ［消音モード］が［ON］に設定されているときは、アラーム音は鳴りません。
- ［デュアルタイム］が［ON］に設定されている場合は、デュアルタイムの設定日時でアラームが作動します。

アラームを設定するには

- ［1 回］または［毎日］を選択してから、アラームの時刻を設定します。
- スヌーズやアラーム音の種類、音量を設定することができます。

時刻	アラームの時刻を設定	
スヌーズ	OFF	スヌーズなし
	ON	5分間隔で最大7回アラーム
種類	1／2／3	
音量	小／大	

アラームの作動／停止／確認

- 作動させる場合：
  カメラの電源を切ってください。アラームはカメラの電源が切れている状態でのみ作動します。
- 停止する場合：
  アラーム作動中にカメラのいずれかのボタンを押すと、アラームが停止してカメラの電源が切れます。［スヌーズ］が［OFF］に設定されていた場合、何も操作しないで1分間経過すると、自動的にアラームが停止してカメラの電源が切れます。
- 時刻を確認する場合：
  カメラの電源が切れているときに**DISP./?**を押すと、アラームの設定時刻と現在時刻が3秒間表示されます。

ビデオ出力 ………………………………… テレビで再生するときの設定をする

NTSC	／PAL

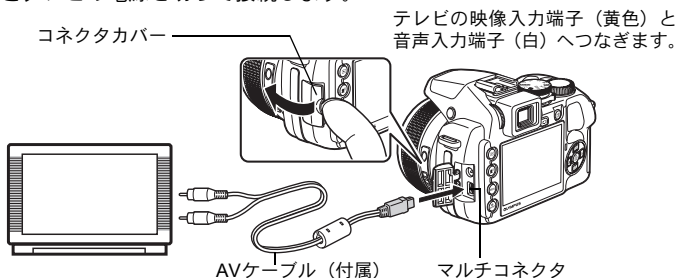
カメラの画像をテレビで再生するためにお使いのテレビの映像信号に合わせて設定します。

- 主な国と地域のテレビ映像信号は次のとおりです。カメラをテレビに接続する前に、あらかじめご確認ください。

NTSC ： 日本、北米、台湾、韓国

PAL ： ヨーロッパ諸国、中国

テレビで再生するとき

カメラとテレビの電源を切って接続します。

テレビ側の設定

テレビの電源を入れて［ビデオ入力］に設定します。

- ビデオ入力の設定方法については、テレビの取扱説明書をご覧ください。
- テレビの設定によっては、画像や情報表示の一部が欠けて見えることがあります。

カメラ側の設定

再生モードでカメラの電源を入れます。

- 最後に撮影した画像がテレビに表示されますので、十字ボタンで表示する画像を選択します。

罫線表示 ……………………………………… 罫線を表示する／種類を決める

OFF／	▦	／☒

撮影モードで**DISP./?**を押したときに表示する罫線の種類を設定します。

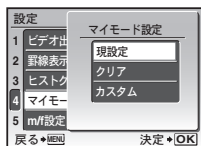
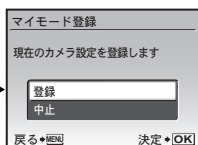
［OFF］を選択すると**DISP./?**を押したときに、罫線は表示されません。

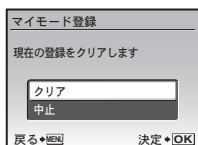
ヒストグラム表示 ……………………………… ヒストグラム表示の設定をする

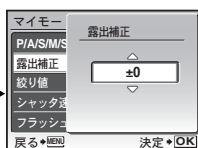
OFF／	ON	／ダイレクト

DISP./?を押したときにヒストグラムを表示するかどうかを設定します。

- ［ダイレクト］に設定したときは、白とび部（赤色）／黒つぶれ部（青色）を画像上に直接表示します。

マイモード設定　……………………… 撮影に関する機能を設定して登録する

※［1マイモード1］のみ初期値が設定されています。

現在のカメラの設定を一括して登録する

- ［登録］を選択して、OK/FUNCを押します。

現在登録されている内容を初期値に戻す

- ［クリア］を選択して、OK/FUNCを押します。

1つずつ機能を登録する

- マイモードに登録する項目を選択し、▷またはOK/FUNCを押します。
- 項目を変更し、OK/FUNCを押します。

☞「マイモード／カスタムボタンに登録できる機能」（P.93）

m／ft設定　………………… マニュアルフォーカス時の距離の単位を設定する

m	メートル、センチで表示します。
ft	フィート、インチで表示します。

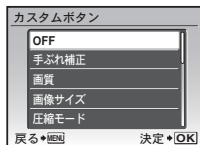
AELAFLボタン　……………………… AEロック・AFロック機能を登録する

AEロック	露出を固定する機能を設定します。
AFロック	ピント位置を固定する機能を設定します。
AFロック＋AEロック	ピント位置および露出を固定する機能を設定します。

撮影モードで**AEL AFL**を押したときの機能を設定します。

☞「**AEL AFL** ピント位置・露出を固定する」（P.30）

カスタムボタン ………………………… カスタムボタンに機能を登録する

- △▽で登録する機能を選択し、OK/FUNCを押します。

☞「マイモード／カスタムボタンに登録できる機能」（P.93）

MF操作 ………………………… マニュアルフォーカス時の操作方法を設定する

◀▶ボタン	◁▷でピントを調整します。
ダイヤル	コントロールダイヤルでピントを調整します。
ズームリング	ズームリングでピントを調整します。

- ［ズームリング］に設定すると、マニュアルフォーカス時にズームリングでズームイン・ズームアウトできません。
- ［ダイヤル］に設定すると、ピント位置を調整しているときは**A**、**S**、**M**モードで絞り値、シャッター速度を変更することができません。

スリープ時間 ………………………… スリープ時間を設定する

1分／ 3分 ／5分 ／10分

カメラは何も操作しない状態で一定の時間が経過すると、スリープモード（待機状態）になり動作を停止し、電池の消費を抑えます。
スリープモードを解除するには、シャッターボタン、十字ボタンなどのボタンを操作してください。

プリントする

ダイレクトプリント（PictBridge）

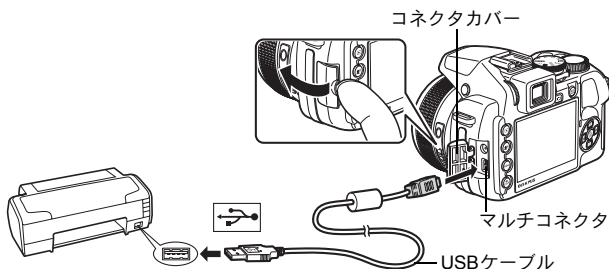
カメラをPictBridge対応プリンタに接続して、撮影した画像を直接プリントすることができます。

かんたんプリント……………………**液晶モニタに表示された画像を、プリンタの標準設定でプリントします。**
カスタムプリント……………………**さまざまな印刷設定を行って印刷できます。**

- PictBridge とは異なるメーカーのプリンタとデジタルカメラを接続し、画像を直接プリントすることを目的とした規格です。お使いのプリンタがPictBridgeに対応しているかどうかは、プリンタの取扱説明書をご覧ください。
- プリンタの標準設定、使用できるプリントモード、用紙サイズなどの設定項目や、使用できる用紙の種類、用紙やインクカセットの取り付け方については、プリンタの取扱説明書をご覧ください。

かんたんプリント

1 再生モードで、プリントしたい画像を液晶モニタに表示します。

2 プリンタの電源を入れて、カメラ付属のUSBケーブルでカメラのマルチコネクタとプリンタのUSBポートを接続します。

- かんたんプリント開始の画面が表示されます。

3 ▶/凸を押します。

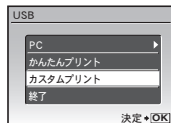
- プリントが開始されます。
- プリントが終わると画像選択の画面が表示されます。別の画像をプリントするときは、◁▷を押して画像を選択し、▶/凸を押します。

4 USBケーブルを抜きます。

その他のプリントモードとプリント設定（カスタムプリント）

1 P.71の手順1､2にしたがい､手順3の画面を表示してOK/FUNCを押します。

2 ［カスタムプリント］を選択し、OK/FUNCを押します。

3 操作ガイドにしたがってプリントの各設定をします。

プリントモードを選ぶ

プリント	選択した画像をプリントします。
全コマプリント	内蔵メモリまたはカードの中の全画像をプリントします。
マルチプリント	1枚の用紙に同じ画像を複数レイアウトして、プリントします。
全コマインデックス	内蔵メモリまたはカードの中の全画像を一覧にして、インデックス形式でプリントします。
予約プリント	プリント予約の内容にしたがってプリントします。 ☞「プリント予約(DPOF)」(P.74)

プリント用紙を設定する

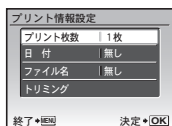
サイズ	お使いのプリンタで使用できる用紙サイズから選択できます。
フチ	フチの有無を選択できます。マルチプリントモードの場合、フチの選択はありません。
分割数	1枚の用紙にレイアウトできる画像の数を選択します。マルチプリントモードの場合のみ選択できます。

- ［プリント用紙設定］画面が表示されない場合、［サイズ］と［フチ］、または［分割数］の設定は標準設定になります。

プリントする画像を選ぶ

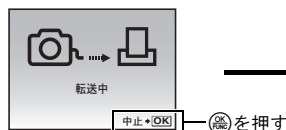
◁▷を押してプリントする画像を選択します。コントロールダイヤルを回してインデックス表示して選択することもできます。

プリント	表示している画像が1枚プリントされます。［1枚予約］または［詳細予約］されているときは予約の内容でプリントされます。
1枚予約	表示している画像をプリント予約します。
詳細予約	表示している画像のプリント枚数やプリントする情報を設定します。

プリント枚数とプリントする情報を設定する

プリント枚数	プリント枚数を設定します。枚数は10枚まで設定できます。
日付（◷）	［有り］を選択すると、画像に日付がプリントされます。
ファイル名（FILE）	［有り］を選択すると、画像にファイル名がプリントされます。
トリミング	十字ボタンとコントロールダイヤルを操作してトリミング枠の位置と大きさを調整し、OK/FUNCを押すとトリミングした画像がプリントされます

4 ［プリント］を選択し、OK/FUNCを押します。

- プリントが開始されます。
- ［全コマプリント］モードの場合、［オプション設定］を選択すると、［プリント情報設定］画面が表示されます。
- プリントが終了すると［プリントモード選択］画面が表示されます。

プリントを途中で中止するには

データ転送中の画面

プリントする

5 ［プリントモード選択］画面で、**MENU**を押します。

- メッセージが表示されます。

6 USBケーブルを抜きます。

プリント予約（DPOF）

プリント予約とは、カード内の画像にプリントする枚数や日付を印刷する指定を記憶させることです。
プリント予約をすると、DPOF対応のプリンタやDPOF対応のプリントショップで簡単にプリントすることができます。DPOFとは、デジタルカメラの自動プリントアウト情報を記録するための規格です。

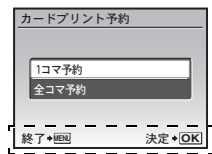
- プリント予約は、カードに記録された画像にのみ設定することができます。あらかじめ画像が記録されているカードをカメラに入れてください。
- 他のDPOF機器で設定されたDPOF予約内容をこのカメラで変更することはできません。予約した機器で変更してください。また、このカメラで新たにDPOF予約を行うと、他の機器で予約した内容は消去されます。
- DPOF予約で予約できる枚数は、1枚のカードにつき999画像です。
- プリンタまたはプリントショップにより、一部機能が制限されることがあります。

プリント予約する

1 再生モードで**MENU**を押して、［プリント予約］を選択します。

2 ［1コマ予約］または［全コマ予約］を選択し、OK/FUNCを押します。

1コマ予約……選択した画像にプリント予約をします。
全コマ予約……カードの全画像にプリント予約をします。

- ［全コマ予約］を選択した場合は、手順5に進みます。

[1コマ予約]を選択した場合

3 ◁▷ を押してプリント予約したいコマを選択し、△▽を押してプリント枚数を設定します。

- 🎥のついた画像はプリント予約できません。
- 複数の画像をプリント予約する場合は、手順3を繰り返します。

トリミングするときは

- コントロールダイヤルを回してトリミング枠を表示します。
- 十字ボタンとコントロールダイヤルを操作してトリミング枠の位置と大きさを調整し、OK/FUNCを押します。

4 プリント予約が終わったらOK/FUNCを押します。

5 日時の種類を選択し、OK/FUNCを押します。

無し 画像のみプリントされます。
日付 画像と撮影年月日がプリントされます。
時刻 画像と撮影時刻がプリントされます。

6 [予約する]を選択し、OK/FUNCを押します。

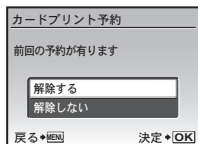
プリント予約を解除する

すべてのプリント予約を解除する方法と、選択した画像のプリント予約だけを解除する方法があります。

1 トップメニュー ▶[プリント予約]の順で選択し、OK/FUNCを押します。

すべての予約を解除する

2 [1コマ予約]または[全コマ予約]を選択し、OK/FUNCを押します。

3 [解除する]を選択し、OK/FUNCを押します。

1コマずつ予約を解除する

2 ［１コマ予約］を選択し、OK/FUNCを押します。

3 ［解除しない］を選択し、OK/FUNCを押します。

4 ◁▷を押してプリント予約を解除したいコマを選択し、▽でプリント枚数を0に設定します。

- 複数の画像のプリント予約を解除する場合は、手順4を繰り返します。

5 プリント予約の解除が終わったらOK/FUNCを押します。

6 日時の種類を選択し、OK/FUNCを押します。

- プリント予約の設定が残っている画像に、選択した設定が適用されます。

7 ［予約する］を選択し、OK/FUNCを押します。

OLYMPUS Masterを使う

カメラをパソコンにUSBケーブルで接続して、カメラの内蔵メモリまたはカードに保存されている画像を付属のOLYMPUS Masterを使ってパソコンに取り込みます。

準備するもの

OLYMPUS Masterとは

OLYMPUS Masterはデジタルカメラで撮影した画像をパソコンで楽しむためのアプリケーションソフトウェアです。

OLYMPUS Masterをインストールする

お使いのパソコンのOSをご確認の上、インストールしてください。
新しいOSへの対応についてはオリンパスホームページ(http://www.olympus.co.jp)でご確認ください。

動作環境について

	Windows	Macintosh
OS	Windows 2000 Professional/ XP Home Edition/ XP Professional/Vista	Mac OS X v10.3以降
CPU	Pentium III 500MHz以上	Power PC G3 500MHz以上 Intel Core Solo/Duo 1.5GHz以上
RAM	256MB以上	256MB以上
HDD の空き容量	500MB以上	500MB以上
モニタ	1024 × 768ドット以上 65,536色以上（1,677万色以上推奨）	1024 × 768ドット以上 32,000色以上（1,677万色以上推奨）
その他	USBポートまたはIEEE 1394ポート Internet Explorer 6以上 QuickTime 7以上推奨 DirectX 9以上推奨	USBポートまたはIEEE 1394（FireWire）ポート Safari 1.0以上（1.3以上推奨） QuickTime 6以上

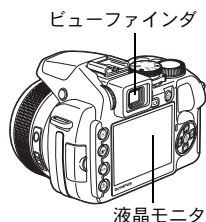
ご注意

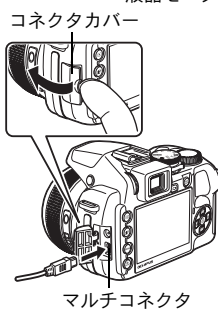
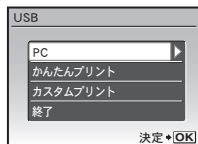
- OSがプリインストールされているパソコンをご使用ください。自作パソコンや、OSをアップデートしたパソコンの動作は保証されません。
- 増設USBポート、増設IEEE 1394（FireWire）ポートを使用した場合の動作は保証されません。
- インストール時は、管理者権限（Administrator）が必要です。
- Macintoshをお使いの場合、次の操作を行う時は必ずメディアを取り出す手順（ゴミ箱にドラッグ＆ドロップ）を先に行ってください。この手順を行わずに操作すると、パソコン動作が不安定になり、再起動が必要となる場合があります。
  - カメラとパソコンの接続ケーブルを抜く
  - カメラの電源を切る
  - カメラの電池／カードカバーを開ける

インストール方法については、CDに添付のインストールガイドをご参照ください。

カメラをパソコンに接続する

1 カメラの電源が入っていないことを確認します。

- 液晶モニタおよびビューファインダが消灯している。
- レンズが出ていない。

2 カメラ付属のUSBケーブルでパソコンのUSBポートとカメラのマルチコネクタを接続します。

- USBポートの位置はお使いのパソコンの取扱説明書でご確認ください。
- 自動的にカメラの電源が入ります。
- カメラの液晶モニタが点灯し、USB ケーブルの接続先の選択画面が表示されます。

3 ［PC］を選択し、OK/FUNCを押します。

4 パソコンがカメラを新しい機器として認識します。

- **Windowsの場合**
  はじめてカメラとパソコンを接続したときは、パソコンがカメラを認識する動作を自動的に行います。設定終了のメッセージが表示されたら、「OK」ボタンをクリックしてメッセージを終了してください。カメラは「リムーバブルディスク」として認識されます。
- **Macintoshの場合**
  画像ファイルは通常iPhotoというアプリケーションで管理されます。はじめてカメラを接続するとiPhotoが起動しますので、iPhotoを終了させOLYMPUS Masterを起動してください。

ご注意

- パソコンに接続中は、カメラとしての機能は一切動作しません。
- USBハブを経由してカメラを接続すると、動作が不安定になることがあります。この場合は、ハブを使用しないでください。
- 手順 3 で［PC］を選択して ▷ を押し、［MTP］を選択した場合、OLYMPUS Master を使用してパソコンへ画像を転送することはできません。

OLYMPUS Masterを起動する

Windowsの場合

1 デスクトップの「OLYMPUS Master 2」アイコン をダブルクリックします。

Macintoshの場合

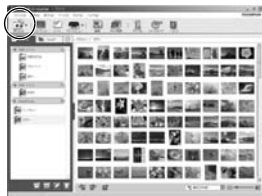
1 「OLYMPUS Master 2」フォルダ内の「OLYMPUS Master 2」アイコン をダブルクリックします。

- ブラウズウィンドウが表示されます。
- OLYMPUS Masterをインストールして初めて起動すると、ブラウズウィンドウの前にOLYMPUS Masterの初期設定画面とユーザー登録画面が表示されます。画面の案内にしたがって操作してください。

カメラの画像をパソコンで表示する

取り込んで保存する

1 ブラウズウィンドウで「取り込み」をクリックして、「カメラから取り込み」をクリックします。

- カメラから取り込みウィンドウが表示されます。カメラ内のすべての画像が一覧表示されます。

2 「新規アルバム」を選択して、アルバムの名前を入力します。

3 画像ファイルを選択し、「取り込み」ボタンをクリックします。

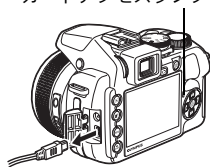
- 取り込み完了のメッセージが表示されます。

4 「今すぐ画像を見る」ボタンをクリックします。

- ブラウズウィンドウに取り込んだ画像が表示されます。

カメラを取り外すには

1 カードアクセスランプの点滅が終了していることを確認します。

カードアクセスランプ

2 USBケーブルを抜く準備をします。

Windowsの場合

① システムトレイに表示されている「ハードウェアの取り外し」アイコンをクリックします。
② 表示されたメッセージをクリックします。
③ 「デバイスは安全に取り外すことができます」というメッセージが表示されたら、「OK」ボタンをクリックします。

Macintoshの場合

① デスクトップの「名称未設定」（または「NO_NAME」）アイコンをドラッグすると「ゴミ箱」アイコンが「取り出し」アイコンに変わりますので、そのまま「取り出し」アイコンの上にドロップしてください。

3 カメラからUSBケーブルを抜きます。

ご注意

- Windowsの場合：「ハードウェアの取り外し」をクリックした際、「カメラを停止できません」という警告画面が表示される場合があります。その場合は、カメラの画像データを読み込み中でないこと、またカメラの画像ファイルを開いていたアプリケーションが起動していないことを確認してください。確認後、「ハードウェアの取り外し」の操作を再度行い、その後ケーブルを外してください。

OLYMPUS Masterの詳しい使い方については、OLYMPUS Masterを起動したときに表示されるクイックスタートガイドや、ヘルプをご参照ください。

OLYMPUS Masterを使用せずにパソコンに画像を取り込んで保存する

このカメラはUSBストレージクラスに対応しています。OLYMPUS Masterを使用せずに付属のUSBケーブルでカメラとパソコンを接続し、画像を取り込んで保存することもできます。接続できるパソコンの環境は以下のとおりです。

Windows：Windows 2000 Professional/XP Home Edition/
XP Professional/Vista

Macintosh：Mac OS X v10.3以降

ご注意

- Windows Vistaをお使いの場合は、78ページの手順3で［PC］を選択して▷を押し、［MTP］を選択することでWindows フォト ギャラリーが使用できます。
- USB端子を装備していても、以下の環境では正常な動作は保証いたしません。
  - 拡張カードなどでUSB端子を増設したパソコン
  - 工場出荷時にOSがインストールされていないパソコンおよび自作パソコン

もっとカメラのことが知りたいときに

こんなときは?

撮影前、こんなときは

電池を入れてもカメラが動かない

電池の向きが正しくない

- 電池を正しく入れなおしてください。

電池残量が少なくなった

- 新しい電池を入れてください。充電池の場合は、電池を充電してください。

低温下にあり、一時的に電池の性能が低下した

- 電池は低温下にあると性能が低下して、カメラを動かすための十分な充電量が確保できない場合があります。カメラから電池を一度取り出してポケットに入れるなどして少し温めてから使用してみましょう。

カードが使えない

- カードの接続面に汚れがついているとカードが読み込めず、［カードセットアップ］画面が表示されることがあります。その場合は［カードを拭く］を選択し、OK FUNCを押したあとカードを抜いて、乾いた柔らかい布で接触面を乾拭きしてください。

シャッターボタンを押しても撮影ができない

カメラがスリープモードに入っていた

- カメラは電源オンの状態（レンズ繰り出し、液晶モニタ点灯）で、何も操作しない状態で一定の時間が経過するとスリープモードと呼ばれる省電力状態に入り、液晶モニタは自動的に消灯します。スリープモードに入る時間は、1分、3分、5分、10分から設定することができます。この状態でシャッターボタンを全押ししても撮影できません。シャッターボタンやその他のボタンを操作して、カメラをスリープモードから復帰させてから撮影しましょう。さらに12分放置すると、カメラは電源オフの状態（レンズ格納、液晶モニタ消灯）になります。パワースイッチを一度OFFの位置に戻し、改めてONの位置にして、電源を入れてください。

☞「スリープ時間　スリープ時間を設定する」（P.70）

モードダイヤルが▶の位置にある

- 撮影した画像を液晶モニタに表示する再生モードです。撮影モードにしましょう。

モードダイヤルがGUIDEの位置にある

- 撮影ガイド表示中は撮影できません。撮影ガイドにしたがって項目を設定後撮影するか、モードダイヤルを回して、GUIDE以外の撮影モードにしましょう。

フラッシュが充電中である

- ⚡（フラッシュ充電）マークの点滅が終わってから、もう一度シャッターボタンを押してください。

カメラの内部温度が高くなった

- 長時間使用を続けると、カメラの内部温度が上がり、自動的に動作を停止する場合があります。電池を取り出して、カメラが冷えるまでしばらく待ってから撮影しましょう。また、使用中にカメラの外側の温度も上がりますが、故障ではありません。

ビューファインダが点灯しない

液晶モニタが点灯している

- |◯|を押してビューファインダに切り換えてください。

液晶モニタが点灯しない

ビューファインダが点灯している

- |◯|を押して液晶モニタを点灯させてください。

ビューファインダ、または液晶モニタの表示が見にくい

カメラ内が結露※している

- 電源を切ってしばらくおき、カメラ全体が環境温度になじんで乾燥するのを待ってからお使いください。

  ※ 外気が寒いときに空気中にある水蒸気が急速に冷やされて水滴になること。カメラが冷えた状態で急に暖かい部屋などに入れた場合に発生します。

撮影時に液晶モニタ、またはビューファインダの画面に縦スジが入る

- 晴天下のような明るい被写体にカメラを向けると、画面に縦スジが入ることがあります。故障ではありません。

ビューファインダが正しく調整されていない

- 視度調整ダイヤルを少しずつ回しながら、調整してください。

☞「ビューファインダを見やすくする」（P.9）

日時設定がされていない

購入時のままで使用している

- お買い上げ時のカメラの状態では日時設定はされていません。日時設定をしてからご使用ください。

☞「電源を入れる」（P.6）
「日時設定　日付・時刻を設定する」（P.66）

カメラから電池を抜いていた

- 電池を抜いた状態で約3日放置すると、日時の設定は初期設定に戻ります（当社試験条件による）。また、カメラに電池を入れていた時間が短い場合は、これよりも早く日時の設定が解除されます。大切なものを撮る前には日時の設定が正しいことを確認してください。

こんな撮影がしたい

狙ったものにピントを合わせたい

被写体の種類によっていくつかの方法があります。

被写体が画面の中央にない

- 被写体を中央においてフォーカスロックをしてから撮影する構図を決めます。
- ［AF方式］を［ターゲット選択］に設定します。

☞「AF方式　ピントを合わせる範囲を変える」（P.50）

被写体の動きが早い

- 撮影しようとする位置とほぼ同じ距離のものでピントを合わせ（シャッターボタン半押し）、そのまま撮影する構図に移して被写体を待ちます。
- 撮影モードを**S**にして、シャッター速度を自分で設定して撮影します。シャッター速度を早くすると、すばやい動きをとらえて止まっているように撮影します。

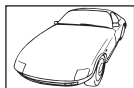
☞「**S** シャッター速度を変更して撮影する」（P.23）

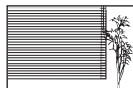
被写体が暗い

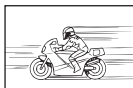
- ［AFイルミネータ］を［ON］にします。

☞「AFイルミネータ　暗いところで補助光を光らせる」（P.51）

オートフォーカスの苦手な被写体

- 次のような場合、オートフォーカスでピントが合いにくいことがあります。

コントラストがはっきりしない被写体

画面中央に極端に明るいものがある場合

縦線のないもの

遠いものと近いものが混在する場合

動きの速いもの

ピントを合わせたいものが中央にない

いずれの場合も、被写体と同距離にあるコントラストのはっきりとしたものでピントを合わせたあと、構図を決めて撮影してください。また、縦線のない被写体の場合は、カメラを縦位置に構えてピントを合わせたあと、構図を横に戻して撮影しても効果的です。

ぶれない写真を撮りたい

カメラを正しく構え、シャッターボタンを静かに押して撮影してください。また、［手ぶれ補正］を［ON］に設定して撮影すると、ぶれが補正されます。

☞「手ぶれ補正　手ぶれ補正機能を使って撮影する」（P.52）

写真がぶれる理由は、次の場合が考えられます。

- 光学ズームとデジタルズームを使うなど、高倍率のズームで撮影するとき
- 被写体が暗くシャッター速度が遅いとき
- フラッシュが使用できない、またはシャッター速度が遅くなるSCNモードを設定しているとき

フラッシュを発光しないでぶれない写真を撮りたい

暗い場所でフラッシュを発光させずに撮りたいときは、フラッシュモードを［発光禁止］にしたあと、次の設定をしてください。

［ISO感度］設定を高くする

☞「ISO感度　ISO感度を変更する」（P.49）

撮影した写真が粗い

撮影した写真が粗く見える理由はいくつかあります。

デジタルズームを使って拡大して撮影した

- デジタルズームは画像の一部を切り出して拡大しています。拡大するほど画像の粗さが目立ちます。

☞「デジタルズーム　被写体を大きく撮影する」（P.50）

ISO感度を高く設定して撮影した

- ［ISO感度］設定を高くすると、ノイズと言われる本来そこにはないはずの色の小さな点や均一の色の部分に色むらが発生し、画像が粗く見えます。このカメラはノイズを抑えて高感度で撮影できる機能を備えていますが、ISO感度を高くすると、低いときよりは粗くなります。

☞「ISO感度　ISO感度を変更する」（P.49）

正しい色で撮りたい

- 撮影した写真の色が見た目と違う原因は被写体を照らす光源です。［ホワイトバランス］はカメラが正しい色を判断するための機能です。通常は［オート］でほとんどの環境をカバーしますが、被写体の条件によっては［ホワイトバランス］の設定を変えて試してみるほうが良い場合があります。
  - 晴天の日中でも被写体が陰になるとき
  - 窓辺などで外光と照明光が重なってあたるとき
  - 画面の中に白いものがないとき

☞「ホワイトバランス　画像の色合いを調整する」（P.48）
「WB補正　ホワイトバランスの補正値を調整する」（P.53）

白い砂浜や雪景色をきれいな白で撮りたい

- SCNモードの▲または☃で撮影します。晴天の海や雪山で撮影するのに最適です。

☞「SCN　被写体に合った撮影シーンで撮影する」（P.24）

- 通常、白い被写体（雪など）を撮影すると実際より暗く写ってしまいますが、☒で[＋]に補正すると見たままの白を表現することができます。黒い被写体を撮影するときは、逆に[－]に補正すると効果的です。ただし、フラッシュを使用すると意図した明るさ（露出）で撮影できないことがあります。

☞「☒ボタン　画像の明るさを変える（露出補正）」（P.29）

パノラマ画像がずれる

- カメラを中心に回転させて撮影すると画像のずれが発生しにくくなります。特に近いものを撮影する場合はレンズ中央を中心に回転させるとよい結果が得られます。
- ［カメラで合成１］では、自動でカメラの位置を検出しますが、下記の場合は正しい位置が検出できない場合があります。このようなときは［カメラで合成２］／［PCで合成］を使って撮影してください。
  - カメラの動きが速すぎたり、カメラをまっすぐに移動させなかった場合
  - コントラストの低い被写体の場合（画面全体が青空、など）
  - 動いている被写体が画面内に大きく入っている場合
  - 画面が消えている間にカメラを動かした場合

逆光でも人物の顔が暗くならないように撮りたい

- 顔検出パーフェクトショット機能を［ON］に設定すると、逆光でも顔が明るく撮れます。また、外から室内を撮るときにも効果的です。

☞「☒ 逆光時でも被写体を明るく撮る（顔検出パーフェクトショット機能）」（P.32）

- ［測光］を［スポット］に設定すると、背景の光に影響されることなく、AFターゲットマークの範囲にある被写体の明るさに合わせて撮影できます。

☞「測光　明るさを測る範囲を変える」（P.50）

- フラッシュモードを［⚡強制発光］に設定して、フラッシュを必ず発光させて撮影します。逆光でも顔が暗くならず撮影できます。逆光のとき以外に、蛍光灯や人工照明下での撮影時でも［⚡強制発光］は有効です。

☞「▷⚡ボタン　フラッシュ撮影する」（P.30）

- ☒で［＋］に補正すると、逆光での撮影時に有効です。

☞「☒ボタン　画像の明るさを変える（露出補正）」（P.29）

- ［AF方式］を［顔検出］に設定すると、逆光でも露出が顔に合い、明るく撮れます。

☞「AF方式　ピントを合わせる範囲を変える」（P.50）

撮りたいものが明るすぎたり暗すぎたりする

- **S**モードや**A**モードで撮影するとき、画面にシャッター速度や絞りの表示が赤で表示されていることがあります。赤の表示は、正しい露出になっていないことを示しています。このままの状態で撮影すると、明るすぎる、または暗すぎる写真になってしまいます。その場合は、コントロールダイヤルを使って設定値を変更しましょう。

☞「**A** 絞り値を変更して撮影する」（P.23）
「**S** シャッター速度を変更して撮影する」（P.23）

撮影中、これが知りたい

撮影できる枚数を多くしたい

このカメラで撮影した画像を記録する方法は2つあります。

内蔵メモリに記録する

- 撮影をして撮影可能枚数が 0 になったら、カメラをパソコンなどに接続して画像を保存し、内蔵メモリの画像を消去する必要があります。

カード（xD-ピクチャーカード）を使う（別売）

- カメラにカードを挿入しているとき、画像はカードに記録されます。カードの空き容量がなくなったら、画像をパソコンに保存してカードの画像を消去するか、新しいカードを使います。
- カメラにカードを挿入しているとき、内蔵メモリは使えません。内蔵メモリの画像は、［データコピー］の機能を使ってカードにコピーすることができます。

☞「データコピー　内蔵メモリの画像をカードにコピーする」（P.63）
「カードについて」（P.103）

内蔵メモリとカードの撮影可能枚数／撮影可能時間

静止画

画像サイズ		圧縮モード	撮影可能枚数			
			内蔵メモリ		カード（1GBの場合）	
			音声あり	音声なし	音声あり	音声なし
RAW	3648×2736	非圧縮	3枚	3枚	68枚	69枚
10M	3648×2736	FINE	9枚	9枚	204枚	205枚
		NORM	18枚	18枚	397枚	402枚
5M	2560×1920	FINE	18枚	18枚	404枚	410枚
		NORM	35枚	35枚	770枚	789枚
3M	2048×1536	FINE	27枚	28枚	615枚	627枚
		NORM	51枚	53枚	1142枚	1184枚
2M	1600×1200	FINE	43枚	44枚	954枚	984枚
		NORM	76枚	80枚	1683枚	1776枚
1M	1280×960	FINE	63枚	66枚	1390枚	1453枚
		NORM	107枚	116枚	2369枚	2558枚
VGA	640×480	FINE	223枚	264枚	4920枚	5814枚
		NORM	363枚	484枚	7995枚	10660枚
16:9	1920×1080	FINE	40枚	41枚	888枚	913枚
		NORM	72枚	76枚	1599枚	1683枚

ムービー

画像サイズ		フレームレート	連続撮影可能時間			
			内蔵メモリ		カード（1GBの場合）	
			音声あり	音声なし	音声あり	音声なし
VGA	640×480	30	25秒	25秒	9分25秒	9分28秒
		15	51秒	51秒	18分44秒	18分56秒
QVGA	320×240	30	1分9秒	1分10秒	25分26秒	25分49秒
		15	2分16秒	2分20秒	50分7秒	51分38秒

新しいカードを使いたい

- 当社製以外のカードを使うときや、パソコンなどで他の用途に使用したカードを使うときは、［カード初期化］の機能を使ってカードを初期化してください。

☞「内蔵メモリ初期化（カード初期化）　内蔵メモリ／カードを初期化する」（P.63）

カードアクセスランプが点滅している

- 画像の記録中／画像の読み出し中／画像の取り出し中（パソコン接続時）です。
- カードアクセスランプの点滅中は、絶対に以下のことをしないでください。撮影した画像が保存されないだけでなく、内蔵メモリまたはカードが破壊され使用できなくなる場合があります。
  - 電池カバー／カードカバーを開ける
  - 電池／カードを取り外す
  - USBケーブルを抜く

電池を長持ちさせたい

- 以下の操作をすると実際に撮影をしなくても、電池を消耗しますので、ご注意ください。
  - 撮影モードでシャッターボタンを半押しして、オートフォーカス動作や手ぶれ補正動作を繰り返す
  - ズーム操作を繰り返す
  - ［フルタイムAF］を［ON］に設定している
  - 長時間、液晶モニタで画像を表示する
  - パソコンやプリンタとの接続時

メニューで選べない機能がある／ボタンで選べない機能がある

- メニューを表示したとき、十字ボタンを使っても選べない項目がある場合があります（メニューがグレーで表示されたときは選択できません）。
  - 現在の撮影モードで設定できない項目の場合
  - すでに設定済みの項目との組み合わせの関係で設定できない場合：フォーカスモードを［MF］設定時の［AF方式］など。

- ボタンを押したときに、設定できない項目がある場合があります。
  ［s🌷］と［⚡］など。
- モードダイヤルがGUIDEのときは、機能の設定変更はできません。
- カメラにカードが入っていないと、使用できない機能があります。
  ［パノラマ］、［プリント予約］、［カード初期化］、［データコピー］

各機能の設定を初期設定に戻したい

- このカメラの一部の機能は、電源を切っても変更した設定を保持しています。初期設定に戻すには［リセット］を実行してください。
  モードダイヤルがP、A、S、M、🎥のとき：電源を切っても設定は保持します（ただし、セルフタイマー、パノラマ、インターバル撮影は除く）。
  モードダイヤルがAUTO、SCNのとき：電源を切ると初期状態に戻ります（ただし、［画質］を除く）。

☞「リセット　撮影機能を初期設定に戻す」（P.43）

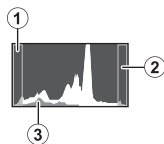
屋外の液晶モニタが見にくい状況で露出の確認をしたい

明るい屋外での撮影では、液晶モニタが見にくく露出の確認がしづらいことがあります。

DISP./?を繰り返し押してヒストグラムを表示させる

- グラフが両端の枠内に多く入ったり左右に偏らないように露出を設定しましょう。

ヒストグラム表示について

① 枠内に多く入ると、画像は黒くつぶれ気味に写ります。
② 枠内に多く入ると、画像は白くとび気味に写ります。
③ ヒストグラムの緑色の部分は、AFターゲットマーク内の輝度分布です。

☞「DISP./?ボタン　情報表示を切り換える／メニューガイドを表示する／時刻を確認する」（P.33）

ビューファインダを使用する

☞「|◯|ボタン　モニタを切り換える」（P.30）

再生中、こんなときは

赤目が補正できない

- 画像によっては赤目補正されないことがあります。また、目以外の部分が補正されることがあります。

撮影した画像に光が写る

- 夜間にフラッシュを発光させて撮影すると、空気中のほこりなどに光が反射して、画像に写りこむことがあります。

再生中、こうしたい

内蔵メモリ内の画像を再生したい

- カメラにカードが入っているときは内蔵メモリ内の画像は再生されません。カードを抜いて操作してください。

撮影した画像の設定値などの情報を知りたい

- 画像を再生して**DISP./?**を押します。繰り返し押すと、表示される情報量が変わります。

☞「**DISP./?**ボタン　情報表示を切り換える／メニューガイドを表示する／時刻を確認する」（P.33）

目的の画像をすばやく表示したい

- 再生モードでコントロールダイヤルを回して、複数の画像を一覧表示（インデックス再生）したり、画像をカレンダー形式で表示（カレンダー再生）します。

☞「コントロールダイヤル　インデックス再生・カレンダー再生・クローズアップ再生する」（P.29）

静止画に録音済みの音声を消したい

- 一度録音したら音声のみを消すことはできません。音声を入れず（無音状態）再録音してください。内蔵メモリまたはカードに残量がない場合は、録音できません。

☞「録音　撮った画像に音声を録音する」（P.61）

画像をパソコンで見るとき、こうしたい

パソコンの画面で画像全体を見たい

パソコンのモニタ上で画像が表示されるときの大きさは、パソコンの設定によって変わります。モニタの設定が1024×768のときInternet Explorerを使って画像を見る場合、画像サイズが2048×1536の画像を100%で表示するとスクロールしないと全体を見ることができません。この場合、いくつかの方法があります。

画像閲覧用のソフトを使って画像を見る

- 付属のCD-ROMのOLYMPUS Master 2をインストールして使用してください。

パソコン画面のプロパティの設定を変更する

- デスクトップのアイコンの配置が換わってしまうことがあります。パソコンの設定方法は、パソコンの取扱説明書をお読みください。

カメラにエラーメッセージが表示されたら

液晶モニタ表示	原因	こうしましょう
このカードは使用できません	カードに問題があります。	このカードは使用できません。新しいカードを入れてください。
書き込み禁止になっています	カードが書き込み禁止になっています。	パソコンを使って読み取り専用の設定がされています。再度パソコンを使って設定を解除してください。
撮影可能枚数が0です	内蔵メモリの撮影可能枚数が0のため、撮影できません。	カードを入れるか、不要な画像を消してください。大切な画像は消す前にカードを使用してデータコピーするか、パソコンに取り込んでください。
撮影可能枚数が0です	カードの撮影可能枚数が0のため、撮影できません。	カードを交換するか、不要な画像を消してください。大切な画像は消す前にパソコンに取り込んでください。
内蔵メモリに残量がありません	内蔵メモリに空き容量がなく、新たな記録をすることができません。	カードを入れるか、不要な画像を消してください。大切な画像は消す前にカードを使用してデータコピーするか、パソコンに取り込んでください。
カード残量がありません	カードに空き容量がなく、内蔵メモリのデータコピーなど新たな記録をすることができません。	カードを交換するか、不要な画像を消してください。大切な画像は消す前にパソコンに取り込んでください。
画像が記録されていません	内蔵メモリまたはカードに記録画像がないため画像が再生できません。	内蔵メモリまたはカードに画像が記録されていません。 撮影してから再生してください。
この画像は再生できません	選択した画像に問題があり、再生できません。	パソコンの画像ソフトなどで再生してください。それでも再生できない場合は、画像ファイルの一部が壊れています。
この画像は編集できません	他のカメラで撮影した画像などを選択している場合は編集できません。	パソコンの画像ソフトなどで編集してください。
カードカバーが開いています	カードカバーが開いています。	カードカバーを閉めてください。

液晶モニタ表示	原因	こうしましょう
電池残量がありません	電池残量がありません。	新しい電池を入れてください。充電池の場合は、電池を充電してください。
回路冷却の為 動画撮影を中止します 暫くお待ち下さい	[手ぶれ補正] を [ON] に設定して長時間連続してムービー撮影したため、カメラの内部温度が上がり、撮影を中止しました。	カメラが冷えるまでしばらく待ってから撮影するか、[手ぶれ補正] を [OFF] に設定して撮影してください。
回路冷却中 暫くお待ち下さい		
カードセットアップ カードを拭く カード初期化 決定 OK	カードが読み込めていません。またはカードが初期化されていません。	• [カードを拭く] を選択し、OK を押してください。カードを抜いて乾いた柔らかい布で接触面を乾拭きしてください。 • [カード初期化] ▸ [する] の順に選択し、OK を押して初期化します。初期化すると、カード内のデータはすべて消去されます。
メモリセットアップ 電源オフ 内蔵メモリ初期化 決定 OK	カメラの内蔵メモリにエラーがあります。	[内蔵メモリ初期化] ▸ [する] の順に選択し、OK を押して初期化します。初期化すると内蔵メモリのデータはすべて消去されます。
接続されていません	カメラがパソコンまたはプリンタに正しく接続されていません。	カメラとパソコンまたはプリンタを正しく接続しなおしてください。
用紙がありません	用紙切れです。	用紙をプリンタに補充してください。
インクがありません	インク切れです。	インクをプリンタに補充してください。
紙づまりです	用紙が詰まっています。	詰まった用紙を取り除いてください。
プリンタの設定が変更されました	プリンタ側で用紙カセットを取り出すなどの操作をした場合です。	プリントの設定中には、プリンタの操作はしないでください。
プリンタエラーです	エラーが発生しました。	カメラとプリンタの電源を切り、プリンタの状態を確認してから再度電源を入れ直してください。
この画像はプリントできません	他のカメラで撮影した画像などでは、プリントできないものがあります。	パソコンなどを使ってプリントしてください。

マイモード／カスタムボタンに登録できる機能

機能名	マイモード設定	カスタムボタン	参照頁
P/A/S/M/SCENE	○	—	P.6
露出補正	○	—	P.29
絞り値	○	—	P.23
シャッター速度	○	—	P.23
フラッシュ	○	—	P.30
マクロ	○	—	P.34
セルフタイマー	○	—	P.35
[icon]	○	—	P.32
モニタ（[icon]）※1	○	—	P.30
ズーム位置※2	○	—	—
画質	○	○	P.42
画像サイズ	○	○	P.42
圧縮モード	○	○	P.43
ホワイトバランス	○	—	P.48
ISO感度	○	—	P.49
ドライブ	○	—	P.49
ファインズーム	○	○	P.50
デジタルズーム	○	○	P.50
測光	○	—	P.50
AF方式	○	○	P.50
フルタイムAF	○	○	P.51
動体予測AF	○	○	P.51
AFイルミネータ	○	—	P.51
手ぶれ補正	○	○	P.52
フラッシュ補正	○	—	P.52
フラッシュ選択	○	○	P.52
静止画録音	○	○	P.53
WB補正	○	—	P.53
仕上がり	○	—	P.53
シャープネス	○	—	P.53
コントラスト	○	—	P.53
彩度	○	—	P.54
ノイズリダクション	○	○	P.54
インターバル撮影	○	—	P.54
[icon]（コンバージョンレンズ）	○	—	P.55
情報表示	○	—	P.33
罫線表示	○	—	P.68
ヒストグラム表示	○	—	P.68

※1 液晶モニタとビューファインダのどちらを使用するかを設定します。
※2 ズーム位置の設定は、26mm/50mm/150mm/300mm/520mmから選択します。（表示されるズーム位置は35mmカメラの焦点距離換算値です。）

撮影モード別設定可能な機能

撮影モードによっては、設定できない項目があります。詳しくは、以下の表をご覧ください。MYモードでは、選択した撮影モードによって設定可能な機能は異なります。

SCNモードでは、撮影シーンに応じた最適な設定になっています。その効果を活かすために、設定できる機能には制限があります（　　で示しています）。

機能＼撮影モード		AUTO	P	A	S	M	SCN	🎥	参照頁
フラッシュ	オート発光	○	○	○	—	—		—	P.30
	赤目軽減	○	○	○	—	—		—	P.30
	強制発光	○	○	○	○	○		—	P.30
	赤目・強制発光	○	○	○	○	○		—	P.30
	スローシンクロ	○	○	○	○	○		—	P.31
	赤目軽減スローシンクロ	○	○	○	○	○		—	P.31
	スローシンクロ2	○	○	○	○	○		—	P.31
	発光禁止	○	○	○	○	○		—	P.31
露出補正		○	○	○	○	—	○	○	P.29
絞り値		—	—	○	—	○	—	—	P.23
シャッター速度		—	—	—	○	○	—	—	P.23
マクロ		○	○	○	○	○		○	P.34
スーパーマクロ		○	○	○	○	○		○	P.34
セルフタイマー		○	○	○	○	○		○	P.35
情報表示		○	○	○	○	○	○	—	P.33
光学ズーム		○	○	○	○	○		○※1	P.28
AEロック		—	○	○	○	—		—	P.30
AFロック		—	○	○	○	○		—	P.30
AFロック+AEロック		—	○	○	○	—		—	P.30
顔検出パーフェクトショット		○	○	○	○	○		○	P.32
画質		—	○	○	○	○	—	—	P.42
画像サイズ		○	○	○	○	○		○	P.42
圧縮モード		○	○	○	○	○		—	P.43
フレームレート		—	—	—	—	—	—	○	P.43
ホワイトバランス		—	○	○	○	○	○	○	P.48
ISO感度		—	○	○	○	○※2		—	P.49
ドライブ		—	○	○	○	○※3		—	P.49
ファインズーム		—	○	○	○	○		—	P.50
デジタルズーム		—	○	○	○	○		○	P.50

機能＼撮影モード	AUTO	P	A	S	M	SCN		参照頁
測光	—	○	○	○	○		○	P.50
AF方式	—	○	○	○	○		—	P.50
フォーカスモード	—	○	○	○	○		—	P.31
フルタイムAF	—	○	○	○	○		○	P.51
動体予測AF	—	○	○	○	○		—	P.51
AFイルミネータ	—	○	○	○	○		—	P.51
手ぶれ補正	—	○	○	○	○	○	○	P.52
フラッシュ補正	—	○	○	○	○		—	P.52
フラッシュ選択	—	○	○	○	○		—	P.52
静止画録音	—	○	○	○	○		—	P.53
パノラマ	—	○	—	—	—		—	P.44
WB補正	—	○	○	○	○	○	○	P.53
仕上がり	—	○	○	○	○	—	—	P.53
シャープネス	—	○	○	○	○	○	○	P.53
コントラスト	—	○	○	○	○	○	○	P.53
彩度	—	○	○	○	○	○	○	P.54
ノイズリダクション	—	○	○	○	○※4		—	P.54
インターバル撮影	—	○	○	○	○		—	P.54
（コンバージョンレンズ）	—	○	○	○	○		○	P.55
ムービー録音	—	—	—	—	—	—	○	P.55

※1［ムービー録音］を［ON］に設定していると、撮影中に光学ズームが使用できません。［ムービー録音］を［ON］に設定してズームを使いたい場合は、［デジタルズーム］を［ON］に設定してください。
※2［オート］［高感度オート］は設定できません。
※3［BKT］は設定できません。
※4 バルブ撮影時は、［ON］に固定されます。

用語解説

画像サイズ

画像を構成する点（ピクセル）の数で表した画像の大きさのこと。例えば、640 × 480で撮影した画像は、パソコンのモニタの設定が640 × 480のときではモニタ全体に表示されますが、1024 × 768ではモニタの一部分にだけ表示されます。

画素数

画像を形成する最小単位の点。画素数が多いほど、サイズの大きな画像を作るのに適しています。

けられ

撮影画面内に邪魔なものが入って、被写体が完全に写らないとき、またファインダで覗いたときに撮影レンズの鏡胴で視野の一部が見えないことも、けられといいます。撮影レンズに不適切なフードを使った場合などに視野の四隅が暗くなることもいいます。

絞り

レンズを通して入ってくる光量を調節する機構。値が小さいほど光が多く入り、値が大きいほど入る光が少なくなります。そのレンズで使える最小の絞り値にすることを開放するといい、絞り値を大きくするのを絞り込むといいます。

スリープモード（待機状態）

電池を節約するためのモード。電源を入れたままカメラを一定時間放置すると、電池を節約するためにカメラは動作を停止します。シャッターボタンや十字ボタンなどの操作をすると、すぐにカメラは動作します。

スレーブフラッシュ

カメラとシンクロコードなどで接続せずに使用できるワイヤレスフラッシュ。カメラ側のフラッシュの発光に同調して発光します。被写体の影のつき方を変えるなど、ライティングに変化を出すことができます。

ノイズリダクション

暗いところでの撮影では、CCDにあたる光の量が少なくなるので、遅いシャッター速度で撮影します。長時間露出時はCCDに光があたっていない部分からも信号が発生し、ノイズとして画像に記録されます。ノイズリダクションが働くとカメラが自動的にノイズを軽減してきれいな画像を撮影することができます。

露出

画像が写るために得る光の量。シャッター速度と絞りでレンズを通して入ってくる光の量を調節して、露出を決めます。

アルファベット順

Aモード （aperture priority mode）

絞り優先AEモード。絞り値は自分で決め、カメラが絞り値にしたがってシャッター速度を変化させ、適正な露出で撮影するモード。

AE（automatic exposure）

自動露出。カメラが自動的に露出を決める方式。このカメラには、絞りとシャッター速度をカメラに任せる**P**モード、絞り値を決めてシャッター速度をカメラに任せる**A**モード、シャッター速度を決めて絞り値をカメラに任せる**S**モードの3種類のAEがあります。**M**モードでは、絞り値とシャッター速度の両方を決める必要があります。

CCD（charge coupled device）
レンズを通して入ってきた光を受けて、電気信号に変換する素子。CCDで受けた光をRGBの信号に変換して、一つの画像を作り出します。

DCF（design rule for camera file system）
電子情報技術産業協会（JEITA）で制定された、画像ファイルに関する規格。

DPOF（digital print order format）
デジタルカメラの自動プリントアウト情報を記録するフォーマット。画像を保存したカードにプリントしたい画像の指定や、枚数の指定情報を記録することで、DPOF対応の写真店やプリンタでプリントアウトを簡単に行うことができます。

ESP測光（electro selective pattern）／デジタルESP測光
CCD出力を分割測光によって、周辺と中心部を個別に測光し、演算して露出を決める測光方法。

EV（exposure value）
露出値。絞り値がF1、シャッター速度が1秒のときの光量をEV0と規定し、それより絞りを一段絞ったり、シャッター速度を一段早くするたびに、数値は1ずつ多くなります。EVは明るさとISO感度でも表せます。

ISO
国際標準化機構の略称。デジタルカメラの感度はフィルム感度とともにISO規格で定められているため、感度を表す記号として「ISO100」のように表記します。数値が大きくなるほど、光に対する感度が強くなり、少ない光でも感光します。

JPEG（joint photographic experts group）
静止画の圧縮方式。このカメラで撮影した写真（画像）は、JPEG形式で記録されます。パソコンに読み込めば、グラフィックス用のアプリケーションソフトで加工したり、インターネット閲覧ソフト（ブラウザ）で見ることができます。

Mモード（manual mode）
シャッター速度と絞り値を、自分で設定して撮影するモード。

NTSC/PAL（National Television Systems Committee/Phase Alternating Line）
テレビの放送方式。NTSCは主に日本、北米、韓国で使用され、PALは主にヨーロッパ諸国や中国で使用されています。

Pモード（program mode）
プログラムAEモード。カメラが自動的に、適正な絞り値とシャッター速度を設定して撮影するモード。

PictBridge
異なるメーカーのプリンタとデジタルカメラを接続し、画像を直接プリントすることを目的とした規格です。

Sモード（shutter speed priority mode）
シャッター速度優先AEモード。シャッター速度を自分で決め、カメラがシャッター速度にしたがって絞り値を変化させ、適正な露出で撮影するモード。

TFT（thin-film transistor）液晶
薄膜で作られたトランジスタを利用したカラー液晶モニタ。

アフターサービス

● 保証書はお買い上げの販売店からお渡しいたしますので「販売店名・お買い上げ日」等の記入されたものをお受け取りください。もし記入もれがあった場合は、ただちにお買い上げの販売店へお申し出ください。また保証内容をよくお読みの上、大切に保管してください。

● 本製品のアフターサービスに関するお問い合わせや、万一故障の場合はお買い上げの販売店、当社修理センター、またはサービスステーションにご相談ください。取扱説明書にしたがったお取扱いにより、本製品が万一故障した場合は、お買い上げ日より満1ヶ年間「保証書」記載内容に基づいて無料修理いたします。

● 保証期間経過後の修理等については原則として有料となります。

● 当カメラの補修用性能部品は、製造打ち切り後5年間を目安に当社で保有しております。したがって本期間中は原則として修理をお受けいたします。なお、期間後であっても修理可能な場合もありますので、お買い上げの販売店、当社修理センター、またはサービスステーションにお問い合わせください。

● 海外で故障・不具合が生じた場合は、オリンパス代理店リストに記載のⓌマークが付いた販売店・サービスステーションまでご依頼ください。

● 本製品の故障に起因する付随的損害（撮影に要した諸費用、および撮影により得られる利益の喪失等）については補償しかねます。また、運賃諸掛かりはお客様においてご負担願います。

● 修理品をご送付の場合は、修理箇所を指定した書面を同封して十分な梱包でお送りください。また控えが残るよう宅配便または書留小包のご利用をお願いします。

お手入れ

カメラのお手入れ

カメラの外側

• 柔らかい布でやさしく拭いてください。汚れがひどい場合は、うすめた低刺激のせっけん水に布を浸して、硬く絞ってから、汚れを拭き取ります。そのあと、乾いた布でよく拭きます。海辺でカメラを使用した場合は、真水に浸した布を硬く絞って拭き取ります。

液晶モニタとビューファインダ

• 柔らかい布でやさしく拭きます。

レンズ

• レンズブロワー（市販）でほこりを吹き払って、レンズクリーニングペーパーでやさしく拭きます。

ご注意

- 絶対にベンジンやアルコールなどの強い溶剤や化学雑巾を使わないでください。
- レンズを汚れたままにしておくと、カビが生えることがあります。

カメラの保管

- カメラを長期間使用しないときは、電池やACアダプタ、カードを取り外してから風通しがよく涼しい乾燥した場所に保管してください。
- 保管期間中でも、ときどき電池を入れてカメラの動作を確かめてください。

ご注意

- 薬品を扱うような場所での保管は腐食などの原因になるため避けてください。

電池について

● このカメラでは、次の電池を使用することができます。用途にあわせてお選びください。

単3形アルカリ電池
撮影可能枚数はお使いの電池の銘柄や使用条件によって大きく変わります。
単3形ニッケル水素電池
当社製ニッケル水素電池は繰り返し使用できるので経済的です。詳しくは、充電器に付属の取扱説明書をお読みください。

● **以下の電池は使用できません。**
リチウム電池パック（CR-V3）／単3マンガン電池／単3オキシライド電池／単3リチウム電池

● カメラの消費電力は、使用条件などにより大きく異なります。

● 以下の条件では撮影をしなくても電力を多く消費するため、電池の消費が早くなります。

- ズーム動作を繰り返す。
- 撮影モードでシャッターボタンを半押しして、オートフォーカス動作や手ぶれ補正動作を繰り返す。
- ［フルタイムAF］を［ON］に設定している。
- 長時間、液晶モニタで画像を表示する。
- パソコンやプリンタとの接続時。

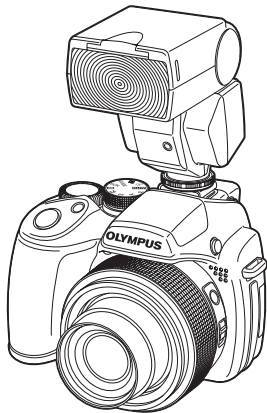
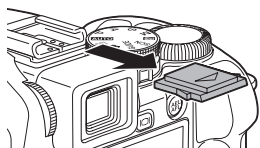
● 電池の寿命は、お使いの電池の種類、メーカー、カメラの使用条件などにより大きく異なります。
同様に条件により、電池残量警告が表示されずにカメラの電源が切れる場合や、逆に電池残量警告が早めに表示される場合があります。

外部フラッシュを使って撮る

専用外部フラッシュを使って撮る

専用外部フラッシュオリンパスFLシリーズで、多彩なフラッシュ撮影を行うことができます。専用外部フラッシュを使うと、カメラのフラッシュモードと露出設定を自動的に検出するなど、内蔵フラッシュと同様に扱うことができます。専用外部フラッシュは、カメラ上部のホットシューに取り付けて使うか、専用フラッシュブラケットFL-BK01（別売）と専用ブラケットケーブルFL-CB02（別売）を組み合わせて使います。

1 ホットシューカバーを矢印の向きにスライドさせて外し、専用外部フラッシュを取り付けます。

- 専用外部フラッシュの取り付け方は、専用外部フラッシュの取扱説明書をご覧ください。
- ホットシューカバーはなくさないように保管し、専用外部フラッシュを取り外したあとは、もう一度取り付けてください。

2 専用外部フラッシュの電源を入れます。

- フラッシュの調光モードを「TTL-AUTO」に設定します。
- フラッシュの電源は、必ずフラッシュをカメラに取り付けてから入れてください。

3 ▷⚡を繰り返し押して、フラッシュモードを設定します。

☞「▷⚡ボタン　フラッシュ撮影する」（P.30）

❗ ご注意

- 専用外部フラッシュ FL-40は使用できません。
- 外部フラッシュをホットシューに取り付けているときは、内蔵フラッシュは使用できません。
- 外部フラッシュ使用時は、一定時間が経過すると自動的に電源が切れます。詳しくは、お使いのフラッシュの取扱説明書をご覧ください。

市販の外部フラッシュを使って撮る

市販の外部フラッシュは、ホットシューに接続できるものであれば、使うことができます。オリンパスFLシリーズ以外の市販の外部フラッシュは、カメラから発光量の調整をすることはできません。

☞「使用できる外部フラッシュについて」（P.101）

1 外部フラッシュをホットシューに取り付けてカメラと接続します。

- 外部フラッシュの取り付け方は、外部フラッシュの取扱説明書をご覧ください。

2 シャッター速度と絞り値を設定します。

☞「M 絞り値とシャッター速度を変更して撮影する」（P.24）

- シャッター速度を遅く設定した場合、画像がぶれて撮影されますのでご注意ください。また、フラッシュの効果を出すために、シャッター速度は1/200～1/300の間に設定されることをおすすめします。

3 外部フラッシュの電源を入れます。

- フラッシュの電源は、必ずフラッシュをカメラに取り付けてから入れてください。

4 外部フラッシュ側で、発光量を自動（オート）に設定し、外部フラッシュのISOと絞り値をカメラのISOと絞り値に合わせます。

- 外部フラッシュ側のモードの選択方法は、各フラッシュの取扱説明書をご覧ください。

ご注意

- カメラのフラッシュモードは、市販の外部フラッシュには適用されません。カメラのフラッシュモードが［発光禁止］でも発光します。
- お使いになる外部フラッシュがカメラに同調するか、あらかじめご確認の上、ご使用ください。

使用できる外部フラッシュについて

市販の外部フラッシュをお使いになる前に、以下の事項を必ずご確認ください。

(1) 外部フラッシュ使用時の露出は、外部フラッシュ側で調節する必要があります。外部フラッシュをオートモードでご使用になる場合は、カメラで設定されているF値とISO感度に合わせることのできる製品をお使いください。

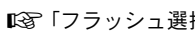
(2) 外部フラッシュのオートF値やISO感度をカメラと同条件に設定しても、撮影条件によっては適正露出にならない場合があります。このような場合は外部フラッシュ側のオートF値かISO値をシフトするか、マニュアルモードで距離を計算してご使用ください。

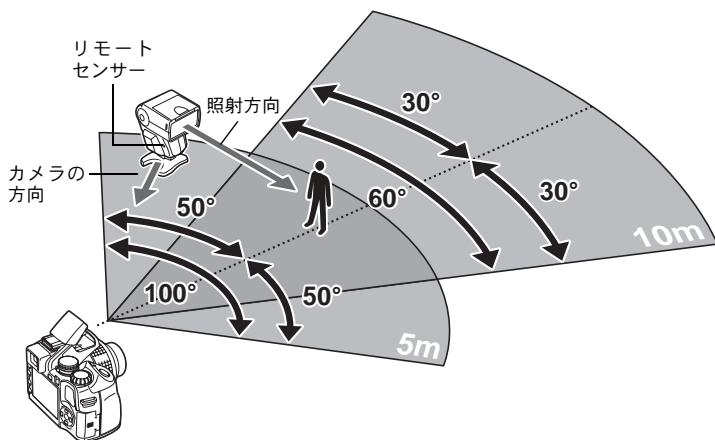
(3) フラッシュの照射角がレンズの画角をカバーする製品をご使用ください。ただし、ワイド側の近距離撮影においては、画面下がけられる場合があります。フラッシュの配光を広げるワイドアダプタが付属されているものが理想的です。

(4) フル発光時の閃光時間が 1/200 秒以下の製品をご使用ください。閃光時間が長いものは、光の一部が露出に寄与しなくなる場合があります。

(5) オリンパスFLシリーズ以外の通信機能付き外部フラッシュ、およびその付属品をお使いになると正常に機能しないだけでなく、故障の原因となることがありますのでご使用にならないでください。

オリンパスワイヤレスRCフラッシュシステムによる撮影

オリンパスワイヤレスRCフラッシュシステムに対応しているフラッシュを使用すると、ワイヤレスでフラッシュ撮影ができます。このシステムに対応した複数のフラッシュを使った多灯フラッシュ撮影も可能です。カメラとフラッシュの通信にはカメラの内蔵フラッシュを使用します。
ワイヤレスフラッシュの操作については、専用フラッシュの取扱説明書をご覧ください。

ワイヤレスフラッシュ設置範囲

ワイヤレスフラッシュのリモートセンサーをカメラ側に向けて設置します。設置範囲の目安は以下の通りです。範囲は周辺環境により変わります。

1 **「ワイヤレスフラッシュ設置範囲」を参考にフラッシュを配置し、フラッシュの電源を入れます。**

資料

2 フラッシュの **MODE** ボタンを押して **RC** モードに設定し、フラッシュのチャンネルとグループを設定します。グループは**A**に設定してください（**B**、**C**では作動しません）。

3 カメラの［フラッシュ選択］から［**RC**］を選択し、さらにチャンネル［**CH1**］～［**CH4**］をフラッシュと同じ設定にします。

☞「フラッシュ選択　外部フラッシュを使うときの設定をする」（P.52）

4 **UP**を押して、内蔵フラッシュをポップアップします。

5 フラッシュモードを選択します。

- RCモードでは赤目軽減発光はできません。

6 撮影準備が終わったら、必ずテスト撮影をしてフラッシュの作動や画像の確認を行ってください。

7 カメラとフラッシュの充電完了表示を確認してから撮影します。

注意

- ワイヤレスフラッシュの設置数に制限はありませんが、相互干渉による誤動作を防止するため、最大3台での使用をおすすめします。
- RC モードでは、内蔵フラッシュはワイヤレスフラッシュとの通信に使用されます。撮影時のフラッシュとしては使用できません。
- ワイヤレスフラッシュで後幕シンクロ撮影をする場合は、シャッター速度が 4 秒以内になるように設定してください。それを超えると、正常な撮影ができません。

別売品を便利に使う

カードについて

別売のカードに撮影した画像を記録することもできます。

内蔵メモリおよびカードは、撮影した画像を記録するためのフィルムにあたるものです。
記録された画像は自由に削除したり、パソコンで加工することができます。
内蔵メモリはカメラから取り出したり、交換したりすることはできません。
容量の大きなカードに交換すると記録できる枚数を増やすことができます。

① インデックスエリア
カードに保存されている内容がわかるように、ここに記入できます。

② 接触面（コンタクトエリア）
カメラの信号読み取り接点が接触する部分です。
この部分には直接手を触れないでください。

使用できるカード

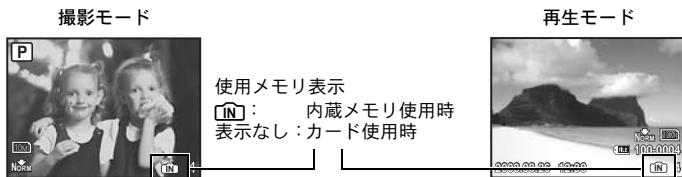
xD-ピクチャーカード（16MB～2GB）(TypeH/M, Standard)

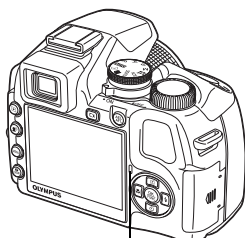
内蔵メモリとカードの関係

内蔵メモリまたはカードのどちらを使用して撮影・再生しているか、液晶モニタの表示で確認できます。

撮影モード

使用メモリ表示
IN：　内蔵メモリ使用時
表示なし：カード使用時

再生モード

ご注意

- 初期化や削除をしてもカード内のデータは完全には消去されません。廃棄する際は、カードを破壊するなどして個人情報の流出を防いでください。
- カードアクセスランプの点滅中はデータの読み出しや書き込みが行われていますので、絶対に電池カバー／カードカバーを開けないでください。撮影した画像が破壊されるだけでなく、内蔵メモリまたはカードが破壊され使用できなくなる場合があります。

カードアクセスランプ

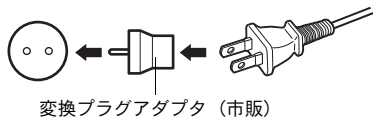
ACアダプタ

長時間スライドショーを行う、パソコンに画像をダウンロードするなど、時間がかかる作業を行なう場合には、ACアダプタ（C-8AC/別売）のご使用をおすすめします。
専用のACアダプタ以外はご使用にならないでください。

ご注意

- カメラの電源が入っているとき、カメラを他の機器に接続しているとき、電池やACアダプタを抜き差ししないでください。カメラに設定されている設定値や機能にトラブルが生じる場合があります。
- ACアダプタの取扱説明書を必ずお読みください。

海外での使用について

● ACアダプタは、世界中のほとんどの家庭用電源AC100～240V（50/60Hz）でご使用になれます。ただし、国や地域によっては、電源コンセントの形状が異なるため、変換プラグアダプタ（市販）が必要になる場合があります。

イラストの変換プラグアダプタ（市販）は一例です。
詳しくは、電気店や旅行代理店でご確認ください。

● 市販の海外旅行用電子変圧器（トラベルコンバーター）は、ACアダプタが故障することがありますので使用しないでください。

安全にお使いいただくために

ご使用の前に、この内容をよくお読みのうえ、製品を安全にお使いください。

ここに示した注意事項は、製品を正しくお使いいただき、お客様や他の人々への危害と財産の損害を未然に防止するためのものです。内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠ **危険**	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う差し迫った危険の発生が想定される内容を示しています。
⚠ **警告**	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
⚠ **注意**	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

製品の取り扱いについてのご注意

⚠ 警告

● **可燃性ガス、爆発性ガス等が大気中に存在するおそれのある場所では使用しない**
引火・爆発の原因となります。

● **フラッシュやLEDを人（特に乳幼児）に向けて至近距離で発光させない**

● **カメラで日光や強い光を見ない**
視力障害をきたすおそれがあります。

● **幼児、子供の手の届く場所に放置しない**
以下のような事故が発生するおそれがあります。
- 誤ってストラップを首に巻きつけ、窒息を起こす。
- 電池などの小さな付属品を飲み込む。万一飲み込んだ場合は、直ちに医師にご相談ください。
- 目の前でフラッシュが発光し、視力障害を起こす。
- カメラの動作部でけがをする。

● **ほこりや湿気、油煙、湯気の多い場所で長時間使用したり、保管しない**
火災・感電の原因となります。

● **フラッシュの発光部分を手で覆ったまま発光しない**

● **連続発光後、発光部分に手を触れない**
やけどのおそれがあります。

● **分解や改造をしない**
感電・けがをするおそれがあります。

● **内部に水や異物を入れない**
火災・感電の原因となります。
万一水に落としたり、内部に水や異物が入ったときは、すぐに電源を切り電池を抜き、販売店、当社修理センター、またはサービスステーションにご相談ください。

● **通電中の充電器、充電中の電池に長時間触れない**
充電中の充電器や電池は、温度が高くなります。また別売のACアダプタを長時間ご使用の場合にも、本体の温度が高くなります。長時間皮膚が触れていると、低温やけどのおそれがあります。

● **専用の当社製充電式電池と充電器以外は使用しない**
発熱、変形などにより、火災・感電の原因となります。またカメラ本体または電源が故障したり、思わぬ事故が起きる可能性があります。専用品以外の使用により生じた傷害は補償しかねますので、ご了承ください。

⚠ 注意

● **異臭、異常音、煙が出たりするなどの異常を感じたときは使用を中止する**
火災・やけどの原因となることがあります。
やけどに注意しながらすぐに電池を取り外し、販売店、当社修理センター、またはサービスステーションにご連絡ください。
（電池を取り外す際は、素手で電池を触らないでください。また可燃物のそばを避け、屋外で行ってください。）

● **濡れた手でカメラを操作しない**
故障・感電の原因となることがあります。また、ACアダプタの抜き差しは、濡れた手では絶対しないでください。

● **カメラをストラップで提げて持ち運んでいるときは、他のものに引っかからないように注意する**
けがや事故の原因となることがあります。

● **高温になるところに放置しない**
部品の劣化・火災の原因となることがあります。

● **専用のACアダプタ以外は使用しない**
カメラ本体または電源が故障したり、思わぬ事故が起きる可能性があります。専用以外のACアダプタの使用により生じた傷害は補償しかねますので、あらかじめご了承ください。

● **ACアダプタのコードを傷つけない**
ACアダプタのコードを引っ張ったり、継ぎ足したりは絶対にしないでください。必ず電源プラグを持って、抜き差しを行ってください。
以下の場合はただちに使用を中止し、販売店、当社修理センターまたはサービスステーションにご相談ください。
電源プラグのコードが熱い、焦げ臭い、煙が出ている。
ACアダプタのコードに傷、断線、または電源プラグに接触不良がある。

電池についてのご注意

液漏れ、発熱、発火、破裂、誤飲などによるやけどやけがを避けるため、以下の注意事項を必ずお守りください。

⚠ 危険

● **火の中に投下したり、加熱しない**
発火・破裂・火災の原因となります。

● **（＋）（－）端子を金属類で接続しない**

● **電池と金属製のネックレスやヘアピンを一緒に持ち運んだり、保管しない**
ショート、発熱し、やけど・けがの原因となります。

● **直射日光のあたる場所、炎天下の車内、ストーブのそばなど高温になる場所で使用・放置しない**
液漏れ、発熱、破裂などにより、火災・やけど・けがの原因となります。

● **直接ハンダ付けしたり、変形・改造・分解をしない**
端子部安全弁の破壊や、内容物の飛散が生じ危険です。
火災・破裂・発火・液漏れ・発熱・破損の原因となります。

● 電源コンセントや自動車のシガレットライターの差し込み口等に直接接続しない
火災・破裂・発火・液漏れ・発熱・破損の原因となります。

● 電池の液が目に入った場合は失明のおそれがあるので、こすらず、すぐに水道水などのきれいな水で十分に洗い流したあと、直ちに医師の診断を受けてください。

⚠ 警告

● 水や海水などにつけたり、端子部を濡らさない

● 濡れた手で触ったり持ったりしない
感電・故障の原因となります。

● 以下の内容を守らない場合、電池の液漏れ、発熱、発火、破裂により、火災やけがのおそれがあります。

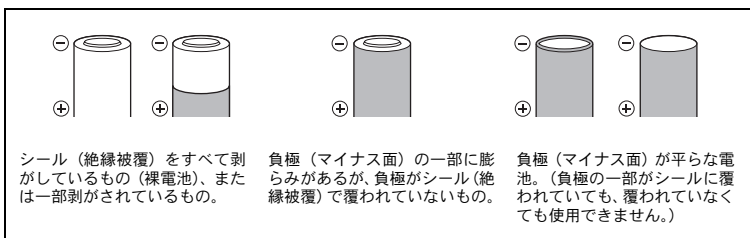
- このカメラで指定されていない電池を使わないでください。
- 古い電池と新しい電池、充電した電池と放電した電池、また、容量、種類、銘柄の異なる電池を一緒に混ぜて使用しないでください。
- 充電できないアルカリ電池やリチウム電池などを充電しないでください。
- ＋－を逆にして装着、使用しないでください。また、機器にうまく入らない場合は無理に接続しないでください。
- 外装シール（絶縁被覆）を一部またはすべて剥がしている電池や、破れている電池をご使用になりますと、電池の液漏れ、発熱、破裂の原因になりますので、絶対にご使用にならないでください。
- 市販されている電池の中にも、外装シール（絶縁被覆）の一部またはすべてが剥がされている電池があります。このような電池は、絶対にご使用にならないでください。

● このような形状の電池はご使用になれません。

シール（絶縁被覆）をすべて剥がしているもの（裸電池）、または一部剥がされているもの。

負極（マイナス面）の一部に膨らみがあるが、負極がシール（絶縁被覆）で覆われていないもの。

負極（マイナス面）が平らな電池。（負極の一部がシールに覆われていても、覆われていなくても使用できません。）

資料

● 充電式電池が所定の充電時間を超えても充電が完了しない場合は、充電を中止する
火災・破裂・発火・発熱の原因となります。

● 外装にキズや破損のある電池は使用しない
破裂・発熱の原因となります。

● 電池に強い衝撃を与えたり、投げたりしない
破裂・液漏れの原因となります。

● カメラの電池室を変形させたり、異物を入れたりしない

● 液漏れ、変色、変形、その他異常が発生した場合は、使用を中止する
火災・感電の原因となります。
販売店または当社サービスステーションにご相談ください。

● 電池の液が皮膚・衣類へ付着すると、皮膚に傷害を起こすおそれがあるので、直ちに水道水などのきれいな水で洗い流してください。

⚠ 注意

● **電池を使ってカメラを長時間連続使用したあとは、すぐに電池を取り出さない**
やけどの原因となることがあります。

● **長期間使用しない場合は、カメラから電池を外しておく**
液漏れ・発熱により、火災・けがの原因となることがあります。

● **マンガン電池は使用しない。**
電池寿命が短いばかりでなく、電池の発熱などにより本体に損害をもたらすおそれがあります。

充電器についてのご注意

⚠ 危険

● **充電器を濡らしたり、濡れた状態または濡れた手で触ったり持ったりしない**
故障・感電の原因となります。

● **充電器を布などで覆った状態で使用しない**
熱がこもってケースが変形したり、火災・発火・発熱の原因となります。

● **充電器を分解・改造しない**
感電・けがの原因となります。

● **充電器は指定の電源電圧で使用する**
指定以外の電源電圧を使用すると、火災・破裂・発煙・発熱・感電・やけどの原因となります。

⚠ 警告

● **充電器のコードは傷つけたり、引っ張ったり、継ぎ足したりしない**
火災・感電の原因となることがあります。
コンセントからの抜き差しは、必ず電源プラグを持って行ってください。
以下の場合はすぐに使用を中止し、販売店、当社修理センター、またはサービスステーションにご相談ください。
- 電源プラグやコードが熱い、焦げ臭い、煙が出ている。
- 充電器のコードにキズ、断線、または電源プラグに接触不良がある。

⚠ 注意

● **お手入れの際は、電源プラグをコンセントから抜いて行う**
電源プラグを抜かないで行うと、感電・けがの原因となることがあります。

使用上のご注意

使用条件について

● 本製品には精密な電子部品が組み込まれています。以下のような場所で長時間使用したり放置すると、動作不良や故障の原因となる可能性がありますので、避けてください。
- 直射日光下や夏の海岸、窓を閉め切った自動車の中、冷暖房器、加湿器のそばなど、高温多湿、または温度・湿度変化の激しい場所
- 砂、ほこり、ちりの多い場所
- 火気のある場所
- 水に濡れやすい場所
- 激しい振動のある場所

● カメラを落としたりぶつけたりして、強い振動やショックを与えないでください。
● レンズを直射日光に向けたまま撮影または放置しないでください。CCDの退色・焼きつきを起こすことがあります。
● 寒い戸外から暖かい室内に入るなど急激に温度が変わったときは、カメラ内部で結露が発生する場合があります。ビニール袋などに入れてから室内に持ち込み、カメラを室内の温度になじませてからご使用ください。
● カメラを長期間使用しないと、カビがはえるなど故障の原因となることがあります。使用前には動作点検をされることをおすすめします。
● カメラのそばにクレジットカードや磁気定期券、フロッピーディスクなどの磁気の影響を受けやすいものを近づけないでください。データが壊れて使用できなくなることがあります。
● 三脚に取り付ける際は、カメラを回さず、三脚のネジを回してください。
● 本体の電気接点部には手を触れないでください。
● レンズに無理な力を加えないでください。

電池について

● 当社製ニッケル水素充電池は、当社デジタルカメラ専用です。他の機器に使用しないでください。
● 電池の（+）（−）端子は、常にきれいにしておいてください。汗や油で汚れていると、接触不良を起こす原因となります。充電や使用する前に、乾いた布でよく拭いてください。
● 充電式電池を初めてご使用になる場合、また長時間使用していなかった場合は、ご使用の前に必ず充電してください。
● アルカリ電池は電池の銘柄、製造日からの保存期間、使用温度により内部抵抗・容量に差があるため、ニッケル水素電池などに比べて寿命が極端に短い場合があります。また、低温時は使えません。
● 一般に電池は低温になるにしたがって一時的に性能が低下することがあります。寒冷地で使用するときは、カメラを防寒具や衣服の内側に入れるなど保温しながら使用してください。低温のために性能の低下した電池は、常温に戻ると性能が回復します。
● ニッケル水素電池の使用推奨温度範囲は以下のとおりです。
• 放電（機器使用時）：0～40℃
• 充電：0～40℃
• 保存：-20～30℃
上記温度範囲外での使用は、電池性能の低下・寿命の短縮の原因となります。
● 撮影条件、使用環境および電池により、撮影枚数が減少することがあります。
● 長期間の旅行などには、予備の電池を用意されることをおすすめします。海外では地域によって電池の入手が困難な場合があります。
● 使用済みの充電式電池は貴重な資源です。充電式電池を捨てる際には、（+）（−）端子をテープなどで絶縁してから最寄の充電式電池リサイクル協力店にお持ちください。詳しくは社団法人電池工業会のホームページ（http://www.baj.or.jp/recycle/）をご覧ください。

Ni-MH

液晶モニタについて

本製品は背面の表示に、液晶モニタを使用しています。

● カメラを太陽などの強い光線に向けると、内部を破損するおそれがあります。

● 液晶モニタは強く押さないでください。画面上ににじみが残り、画像が正しく再生されなくなったり、液晶モニタが割れたりするおそれがあります。万一破損した場合は中の液晶を口に入れないでください。液晶が手足や衣類に付着した場合は、直ちにせっけんで洗い流してください。

● 液晶モニタの画面上下に光が帯状に見えることがありますが、故障ではありません。

● 被写体が斜めのとき、液晶モニタにギザギザが見えることがありますが、故障ではありません。記録される画像には影響ありません。

● 一般に低温になるにしたがって液晶モニタは点灯に時間がかかったり、一時的に変色したりする場合があります。寒冷地で使用するときは、保温しながら使用してください。低温のために性能の低下した液晶モニタは、常温に戻ると回復します。

● **本製品の液晶モニタは、精密度の高い技術でつくられていますが、一部に常時点灯あるいは常時点灯しない画素が存在することがあります。これらの画素は、記録される画像に影響はありません。また、見る角度により、特性上、色や明るさにむらが生じることがありますが、液晶モニタの構造によるもので故障ではありません。ご了承ください。**

その他のご注意

- 本書の内容については将来予告なしに変更することがあります。商品名、型番等、最新の情報についてはカスタマーサポートセンターまでお問い合わせください。
- 本書の内容については、万全を期して作成しておりますが、万一ご不審な点、誤り、記載もれなど、お気づきの点がございましたらカスタマーサポートセンターまでご連絡ください。
- 本書の内容の一部または全部を無断で複写することは、個人としてご利用になる場合を除き、禁止します。また、無断転載は固くお断りします。
- 本製品の不適当な使用による万一の損害、逸失利益、または第三者からのいかなる請求に関し、当社では一切その責任を負いかねますのでご了承ください。
- 本製品の故障、当社指定外の第三者による修理、その他の理由により生じた画像データの消失による、損害および逸失利益などに関し、当社では一切その責任を負いかねますのでご了承ください。
- 本製品で撮影された画像の質は、通常のフィルム式カメラの写真の質とは異なります。

電波障害自主規制について

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスB 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。
取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。
飛行機内では、離発着時のご使用をお避けください。
本製品の接続の際、当製品指定のケーブルを使用しない場合、VCCI基準の限界値を超えることが考えられます。必ず、付属のケーブルをご使用ください。

商標について

Windowsは米国Microsoft Corporationの登録商標です。
MacintoshおよびAppleは米国アップル社の商標または登録商標です。
xD-ピクチャーカード™は商標です。
その他本説明書に記載されているすべてのブランド名または商品名は、それらの所有者の商標または登録商標です。

カメラファイルシステム規格について

カメラファイルシステム規格とは、電子情報技術産業協会（JEITA）で制定された規格「Design rule for Camera File system/DCF」です。

仕様

●カメラ

形式	：デジタルカメラ（記録・再生型）
記録方式	
静止画	：デジタル記録、JPEG（DCF準拠）、RAWデータ
対応規格	：Exif 2.2、DPOF、PRINT Image Matching III 、PictBridge
静止画音声	：Waveフォーマット準拠
動画	：AVI Motion JPEGに準拠
記録媒体	：内蔵メモリ xD-ピクチャーカード（16MB～2GB） (TypeH/M, Standard)
カメラ部有効画素数	：1000万画素
画像素子	：1/2.33型CCD（原色フィルター）
レンズ	：オリンパスレンズ4.6～92mm、F2.8～4.5 （35mmフィルム換算26～520mm相当）
測光方式	：撮像素子によるデジタルESP測光、スポット測光、中央重点測光
シャッター	：15～1/2000秒（バルブ時：最長８分）
絞り	：F2.8～F8.0
撮影範囲	：0.1m～∞（W）1.2m～∞（T）（通常・マクロ時） 0.01m～∞（スーパーマクロ時）
液晶モニタ	：2.7型（インチ）TFTカラー液晶、230,000ドット
フラッシュ充電時間	：約7秒（フル充電された新品電池を使用し、常温下において、フル発光後の充電時間を測定）
コネクタ	：DC入力端子 USB端子／AV出力端子（マルチコネクタ）
自動カレンダー機能	：2000～2099年の範囲で自動修正
使用環境	
温度	：0～40℃（動作時）／-20～60℃（保存時）
湿度	：30～90％（動作時）／10～90％（保存時）
電源	：単3形アルカリ電池／ニッケル水素電池4本または専用ACアダプタ
大きさ	：幅118.5mm × 高さ84mm × 厚さ87.5mm （突起部を除く）
質量	：445g（電池／カード別）

外観・仕様は改善のため予告なく変更することがありますので、あらかじめご了承ください。

索引

か行

さ行

た行

な行

は行

ま行

や行

ら行

わ行

オリンパスイメージング株式会社

〒163-0914　東京都新宿区西新宿2の3の1 新宿モノリス

● **ホームページによる情報提供について**

製品仕様、パソコンとの接続、OS対応の状況、Q&A等の各種情報を当社ホームページで提供しております。
オリンパスホームページ **http://www.olympus.co.jp/** から「お客様サポート」のページをご参照ください。

● **製品に関するお問い合わせ先（カスタマーサポートセンター）**

フリーダイヤル **0120-084215**

携帯電話・PHSからは042-642-7499

FAX　042-642-7486

調査等の都合上、回答までにお時間をいただく場合がありますので、ご了承ください。

※ カスタマーサポートセンターの営業日・営業時間、最新情報についてはオリンパスホームページにて情報提供しております。
オリンパスホームページ http://www.olympus.co.jp/ から
「お客様サポート」のページをご参照ください。

● **修理に関するお問い合わせ・修理品ご送付先（修理センター）、国内サービスステーション（修理窓口）につきましては、本製品に同梱の「オリンパス代理店リスト」、またはオリンパスホームページ http://www.olympus.co.jp/ から「お客様サポート」のページをご参照ください。**

※ 記載内容は変更されることがあります。最新情報はオリンパスホームページ
http://www.olympus.co.jp/ をご確認ください。

Printed in Japan　VS511801
1AG6P1P3968--